

STAR

フォレージハーベスター

取扱説明書・部品表

製品コード K38146 · K38155

型式 MFH3520 · MFH3530

部品供給型式 MFH3520-02 · MFH3530-02

部品ご注文の際は、必ず部品供給型式をご連絡ください。

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

スター農機株式会社



⚠ 安全に作業するため

安全に関する警告について

本機には、⚠印付きの警告ラベルを貼付しています。安全上、特に重要な項目を示しています。警告を守り、安全な作業を行ってください。

警告ラベルについて



その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性が高いことを示します。



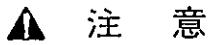
その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う可能性があることを示します。



その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあることを示します。



本機を運転するときには、必ず取扱説明書をよくお読み下さい。
1. 作業に適した、だぶつきのない服装で行って下さい。
2. 酒を飲んだとき、過労ぎみ、病気や妊娠しているときは、作業をしないで下さい。子供には運転させないで下さい。
3. 本機を運転するときは、周囲の安全を確認して下さい。
4. 運転的には、必ず点検や調整をして下さい。
5. 点検や調整をするときは、必ずPTOなどの動力遮断や動力停止（エンジン、電源など）をしてから行って下さい。
6. 点検・調整で取り外したカバー類は、必ず元通りに取り付けて下さい。
7. 他人に本機を貸すときは、必ず「取扱説明書」をよく読んでから作業するようすすめて下さい。



運転中又は回転中、カバーを開けると回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。

カバーを開けないで下さい。

部品番号 106164



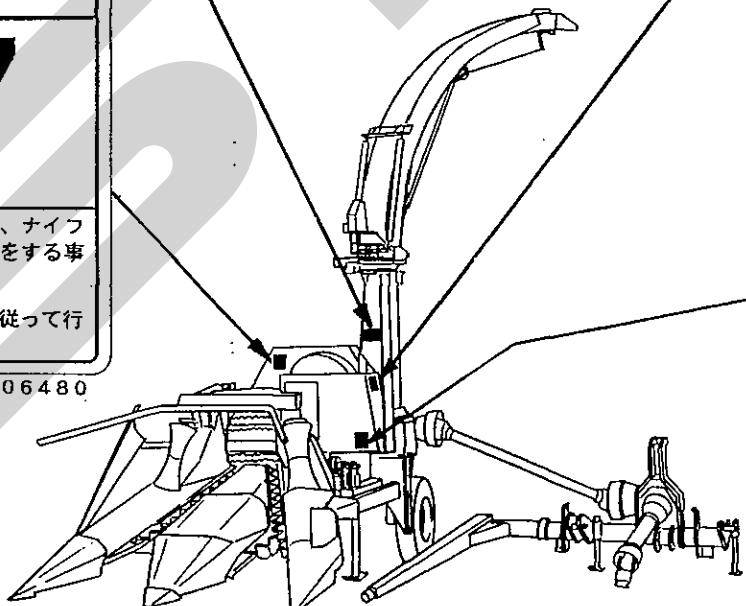
警告



ナイフを研磨する時、ナイフに接触すると、ケガをすることがあります。

ナイフの研磨手順に従って行って下さい。

部品番号 106480



カバーの開放部から手を入れると、回転物に巻き込まれ、ケガをすることがあります。

手を入れないで下さい。

部品番号 106478

— ラベルが損傷した時は —

警告ラベルは、使用者および周囲の作業者などへ危険を知らせる大事なものです。

ラベルが損傷した時は、すみやかに貼り替えてください。

注文の際には、この図に示す 部品番号 をお知らせください。

安全操作上の注意点

取扱説明書に記載されている注意事項を守らないと、死亡を含む傷害を生じる恐れがあります。

作業前には、トラクタの取扱説明書並びに本取扱説明書及びコーン等の刈り取り・細断にご使用の場合、ロークロップアタッチメント・コーン引きこし装置（オプション）の取扱説明書を、牧草の拾い上げ・細断にご使用の場合はピックアップアタッチメントの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解をしてからご使用ください。

作業前に

取扱説明書は製品に近接して保存を

▲注意

- 機械の取り扱いで分からぬ事があった時、取扱説明書を製品に近接して保存していくため、自分の判断だけで対処すると思わぬ事故を起こしけがをする事があります。取扱説明書は、分からぬ事があった時にすぐに取り出せるよう、製品に近接して保存してください。

取扱説明書をよく読んで作業を

▲注意

- 取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領の不十分な理解のまま作業すると、思わぬ事故を起こす事があります。作業を始める時は、製品に貼付している警告ラベル、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項・取扱要領を十分に理解してから行ってください。

こんな時は運転しないでください

▲警告

- 体調が悪い時、機械操作に不慣れな場合などに運転すると、思わぬ事故を起こす事があります。次の場合は、運転しないでください。

- 過労、病気、薬物の影響、その他の理由により作業に集中できない時。
- 酒を飲んだ時。
- 機械操作が未熟な人。
- 妊娠している時。

服装は作業に適していますか

▲警告

- 作業に適さない服装で機械を操作すると、衣服の一部が機械に巻き込まれ、死亡を含む傷害をまねく事があります。次に示す服装で作業してください。

- 袖や裾は、だぶつきのないものを着用する。
- ズボンや上着は、だぶつきのないものを着用する。
- 帽子を着用する。
- はちまき、首巻きタオル、腰タオルなどはしない。

機械を他人に貸す時は、

▲警告

- 機械を他人に貸す時、取扱説明書に記載されている安全上の注意事項や取扱要領が分からぬため、思わぬ事故を起こす事があります。取扱い方法をよく説明し、取扱説明書を渡して使用前にはよく読むように指導してください。

機械の改造禁止

▲注意

- 機械の改造や、当社指定以外のアタッチメント・部品などを取り付けて運転すると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
機械の改造はしないでください。
アタッチメントは、当社指定製品を使用してください。
部品交換する時は、当社が指定するものを使用してください。

始業点検の励行

▲注意

- 始業点検を怠ると、機械の破損や傷害事故をまねく事があります。
作業を始める前には、取扱説明書に基づき点検を行ってください。

エンジン始動・発進する時は

▲警告

- エンジンを始動する時、トラクタの横やステップに立ったまま行うと、緊急事態への対処ができず、運転者はもちろん周囲にいる人がケガをする事があります。
運転席に座り、周囲の安全を確認してから行ってください。
- エンジンを始動する時、主変速レバーを「N」（中立）にして行わないと、変速機が

接続状態になっているため、トラクタが暴走し思わぬ事故を起こす事があります。主変速レバーを「N」(中立)にして行ってください。

- P T Oを切らないでエンジンを始動すると、急に作業機が駆動され、周囲にいる人がケガをする事があります。
 - 急発進するとトラクタ前輪が浮き上がる事があり、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
- 周囲の安全を確認し、ゆっくりと発進してください。

作業機を着脱する時は

▲警告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

▲注意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- ハーベスター本体にアタッチメントを取り付ける時、衝突させると本体がバランスを崩し、後方に転倒しケガをすることがあります。
トラクタに本体を連結してからアタッチメントを取り付けてください。
- 装着するトラクタによっては、前輪荷重が軽くなり、操縦が不安定となって、思わぬ事故をまねく事があります。
トラクタへフロントウエイトを取り付け、バランスを取ってください。
- バッテリからバッテリケーブルを外すときは（-）側から外し、取り付けるときは（+）側から行なってください。
もし、逆にすると作業中工具がトラクタに接触した時、火花が生じ、火災事故の原因になります。

パワージョイントを使用する時は

▲危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。

損傷したらすぐに取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。

- トラクタおよび作業機に着脱する時、第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トラクタのエンジンをとめて行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トラクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

▲注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。
- パワージョイントを接続した時、クランブピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをする事があります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

公道走行時は作業機の装着禁止

▲注意

- トラクタに作業機を装着して公道を走行すると、道路運送車両法に違反します。
トラクタに作業機を装着しての走行はしないでください。

移動走行する時は

▲危険

- 移動走行する時、トラクタのブレーキペダルが左右連結されていないと、片ブレーキになり、トラクタが左右に振られ横転などが起り、思わぬ事故をまねく事があります。
ほ場での特殊作業以外は、ブレーキペダルは左右連結して使用してください。

▲警告

- トラクタに運転者以外の人を乗せると、トラクタから転落したり、運転操作の妨げになって、緊急事態への対処ができず、同乗者はもちろん、周囲の人および運転者自身がケガをする事があります。
トラクタには、運転者以外の人は乗せないでください。

- 急制動・急旋回を行うと、運転者が振り落とされたり、周囲の人を巻き込んだり、思わぬ事故を起こす事があります。
急制動・急旋回はしないでください。
- 坂道・凹凸地・急カーブで速度を出しすぎると、転倒あるいは転落事故を起こす事があります。
低速走行してください。
- 旋回する時、作業機が旋回方向とは逆方向にふくれるため、周囲の人に接触しケガをさせたり、対向物・障害物に衝突しケガをする事があります。
周囲の人や対向物・障害物との間に十分な間隔を保って行ってください。
- ほ場と通路の段差、側溝などの路肩付近を走行する時、近寄りすぎるとトラクタが横滑りや転倒し、思わぬ事故を起こす事があります。
路肩走行する時は、近寄りすぎないようにし、低速で走行してください。
- 田・畑への出入り、畦越えや段差の乗り越えをする時、斜めに乗り越えようとしたり、直角に乗り越えようすると、トラクタが横転・転倒し、ケガをする事があります。
あゆみ板を使用してください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて走行すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 作業機を折りたたまずに移動走行すると、障害物などにぶつかりケガをする事があります。
折りたたんで、移動させてください。

▲注意

- 本作業機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時、転倒してケガをする事があります。
低速走行してください。
- 作業機への動力を切らないで走行すると、周囲の人を回転物に巻き込み、ケガを負わせる事があります。
移動走行する時は、PTOを切ってください。

作業中は

作業する時は

▲警告

- 作業をする時、周囲に人を近づけると、機械に巻き込まれ、ケガをする事があります。周囲に人を近づけないでください。
- 作業機指定のPTO回転速度を超えて作業すると、機械の破損により、ケガをする事があります。
指定回転速度を守ってください。
- 作業機の上に人を乗せると、転落し、ケガをする事があります。
また、物を載せて作業すると、落下し、周囲の人へケガを負わせる事があります。作業機の上には、人や物などはのせないでください。
- 傾斜地で速度を出しすぎると、暴走事故をまねく事があります。
低速で作業してください。
下り作業をする時、坂の途中で変速すると、暴走する原因となります。
坂の前で低速に変速して、ゆっくりとおりてください。
- わき見運転をすると、周囲の障害物の回避や、周囲の人への危険回避などができず、思わぬ事故を起こす事があります。
前方や周囲へ、十分に注意を払いながら運転してください。
- 手放し運転をすると、思わぬ方向へ暴走し、事故を起こす事がありますしっかりとハンドルを握って運転してください。

▲注意

- 機械の調整や、付着物の除去などを行う時、PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確めて行ってください。

トラクタから離れる時は

▲警告

- トラクタから離れる時、傾斜地や凹凸地などに駐車すると、トラクタが暴走して思わぬ事故を起こす事があります。
平坦で安定した場所に駐車し、トラクタのエンジンをとめ、駐車ブレーキをかけて暴走を防いでください。
- トラクタから離れる時、作業機をあげたままにしておくと、第三者の不注意により不

意に降下し、ケガをする事があります。
下限まで降ろしてからトラクタを離れてください。

作業が終わったら

機体を清掃する時は――

▲注意

- 動力を切らずに、回転部・可動部の付着物の除去作業などを行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

終業点検の励行――

▲注意

- 作業後の点検を怠ると、機械の調整不良や破損などが放置され、次の作業時にトラブルを起こしたり、ケガをする事があります。作業が終わったら、取扱説明書に基づき点検を行ってください。
- 3点リンクで作業機を持ち上げて点検・調整を行う時、第三者の不注意により、不意に降下し、ケガをする事があります。
トラクタ3点リンクの油圧回路をロックして行ってください。

不調処置・点検・整備をする時

▲警告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをする事があります。
ナイフの研磨手順に従って行ってください。

▲注意

- ナイフを調整する時不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。
- ナイフを研磨する時目に飛散物が入りケガをする事があります。
保護メガネを着用してください。
- 機械に異常が生じた時、そのまま放置すると、破損やケガをする事があります。
取扱説明書に基づき行ってください。
- 傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタや作業機が不意に動き出して、思わぬケガをする事があります。
平坦で地盤のかたい所で行ってください。
- PTOおよびエンジンをとめずに作業すると、第三者の不注意により、不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。
PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。
- 作業機をあげた状態のまま下にもぐったり、足を入れたりすると、不意に降下し、ケガをする事があります
下に入る時は、台などで降下防止をして行ってください。
- 油圧の継手やホースに、ゆるみや損傷があると、飛び出る高圧オイルあるいは作業機の急な降下で、ケガをする事があります。
補修もしくは部品交換をしてください。
継手やホースを外す時は、油圧回路内の圧力を無くしてから行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けずに作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

もくじ

A

安全に作業するため

安全に関する警告について	1	作業が終わったら	5
作業前に	2	不調処置・点検・整備をする時	5
作業中は	4		

1

トラクタへの装着

1 各部の名称とはたらき	8	2. ドッキングフレームと ハーベスター本体の連結	11
2 適応トラクタの範囲	9	3. スイッチボックスの取付・配線	12
3 組立部品	10	5 パワージョイントの装着	13
1. 解 棚	10	1. 長さの確認方法	13
2. 組立部品の明細	10	2. 切断方法	14
3. 組 立	10	3. 安全カバーの脱着方法	14
4 トラクタへの装着	10	4. パワージョイントの連結	16
1. 3点リンクへの ドッキングフレームの連結	10		

2

運転を始める前の点検

1 運転前の点検	16	(2) パワージョイントの点検	16
1. トラクタ各部の点検	16	(3) 油圧系統の点検	17
2. 連結部の点検	16	2 エンジン始動での点検	17
(1) 3点リンクと 3点フレームの連結点検	16	3 給油箇所一覧表	18

3 作業の仕方

1 本製品の使用目的	20	5. ナイフの研磨	21
1. ロークロップアタッチ装着時	20	6. 切断長の調整	22
2. ピックアップメントの装着時	20	7. シャーボルト	22
2 作業要領	20	8. タイヤの空気圧	22
3 各部の調整	20	9. クラッチ	22
1. ナイフの調整	20	4 運搬	23
2. ロールスプリングの調整	20	1. 本体の取り外し	23
3. スクレーパの調整	21		
4. 研磨装置	21		

4 作業が終わったら

1 作業後の手入れ	23	2 長期格納する時	23
-----------	----	-----------	----

5 点検と整備について

1 点検整備一覧表	24
-----------	----

6 不調時の対応

1 不調処置一覧表	25
-----------	----

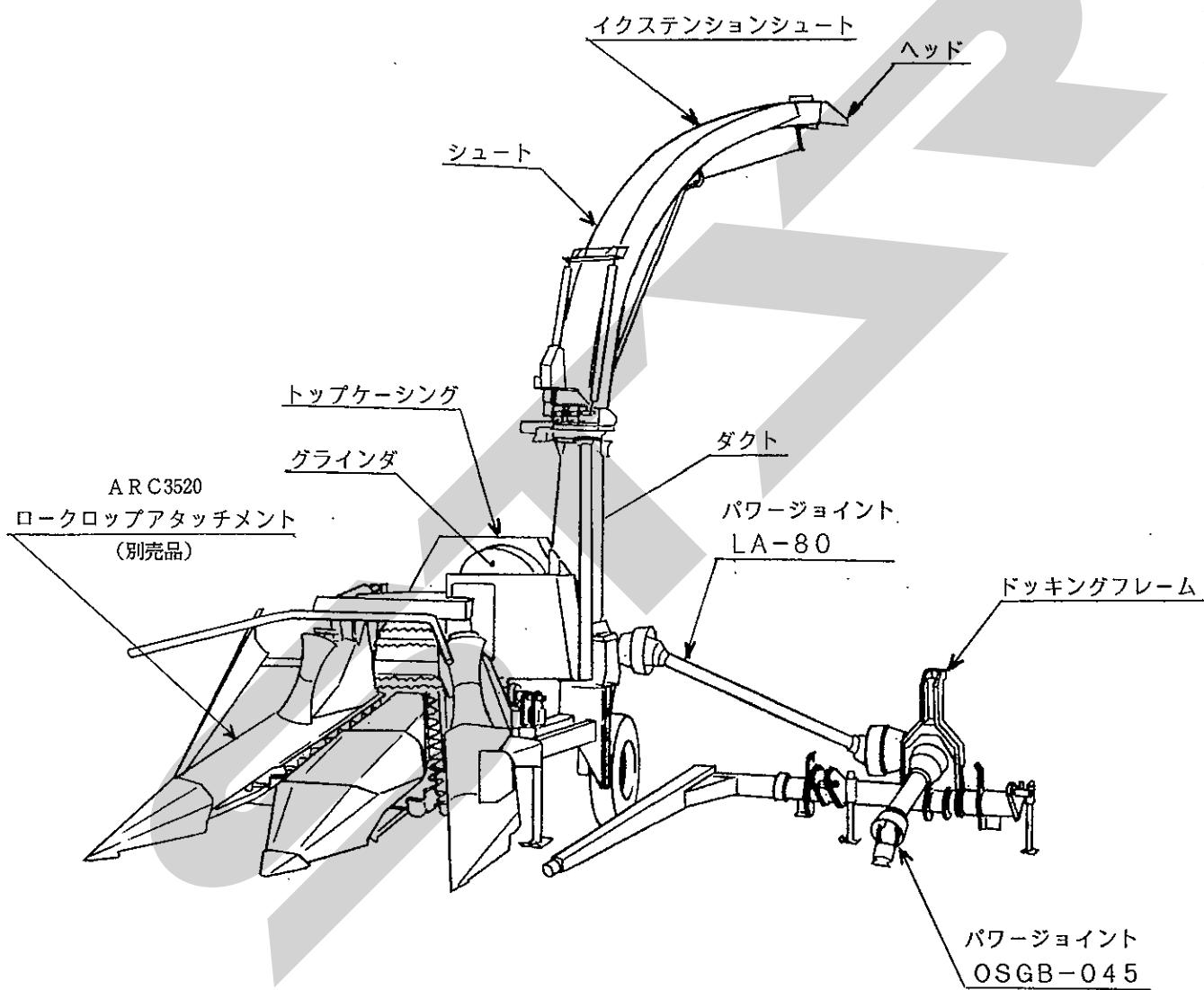
7 部品表

I ハーベスター本体

1 トラクタへの装着

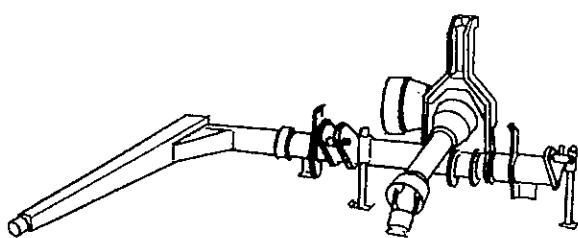
適切な装着で安全な作業をしましょう。

1 各部の名称とはたらき



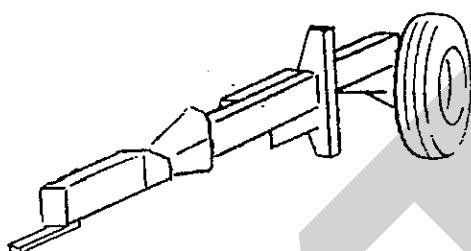
1. ドッキングフレーム

トラクタに装着してハーベスター本体との連結、動力の供給及び移動に使用します。



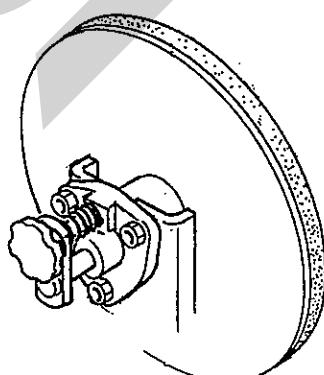
2. カウンタパイプ

ハーベスター本体とドッキングフレームを連結するための本体側の連結装置です。



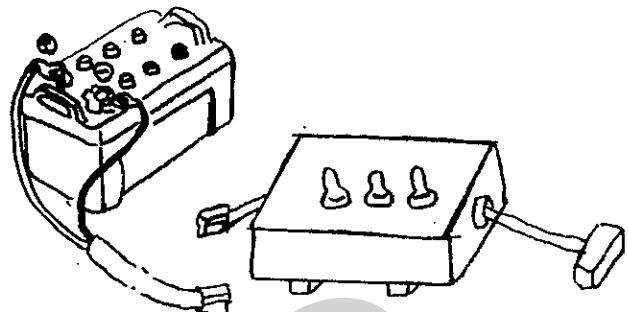
3. グラインダ

ナイフを研磨する装置です。



4. スイッチボックス

トラクタに座ったままシートの回動、ヘッドの上下作動、フィードロールの正逆回転の切り替えに使用します。



5. パワージョイント；OSGB-045

トラクタからハーベスター本体へ動力を伝達します。

6. パワージョイント；LA-33

パワージョイント；LA-80

ドッキングフレームからハーベスター本体へ動力を伝達します。

2 適応トラクタの範囲

本製品は適切なトラクタとの装着により的確に性能を発揮できるように設計されています。

不適切なトラクタとの装着によっては、本製品の耐久性に著しく影響を及ぼしたり、トラクタの運転操作に著しい悪影響を及ぼすことがあります。

適応トラクタ馬力

MFH3520	60～90 P s
MFH3530	

本製品の適応馬力より小さなトラクタで使用すると、負荷に対し十分なパワーがでないことがあります。

逆に、適応馬力よりも大きなトラクタでのご使用時には、過負荷に対し機体の適正值を越えたパワーがでてしまい、本作業機の破損の原因になることがあります。

3 組立部品

1. 解 構

木枠に固定している部品をほどいてください。

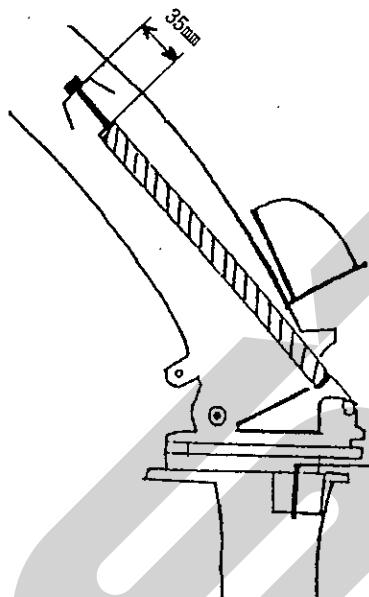
2. 組立部品の明細

梱包に同梱されている梱包明細に基づき、必要部品が揃っているか確認してください。

3. 組 立

各部品の組立に必要なボルト、ナット類は、梱包明細の符号を参照してください。

- (1) タイヤ、カウンタパイプを取り付ける。
- (2) ダクトを本体に取り付ける。
- (3) ダクトにシートを取り付ける。
- (4) シート折りたたみのスプリングを取り付ける。長さ調整は図示寸法を参考に操作力を確かめながら行なってください。



- (5) その他の部品を部品表を参考に取り付けてください。

4 トラクタへの装着

ドッキングフレームを、先に次の手順で装着してください。

1. 3点リンクへのドッキングフレームの連結

▲ 警 告

- 作業機を着脱するためにトラクタを移動させる時、トラクタと作業機の間に人がいると、挟まれてケガをする事があります。トラクタと作業機の間に人を近づけないでください。

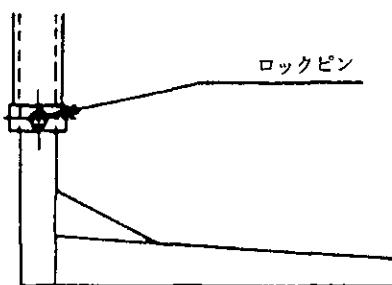
▲ 注 意

- 作業機をトラクタに着脱する時、傾斜地や凹凸地または軟弱地などで行うと、トラクタが不意に動き出し、思わぬ事故を起こす事があります。

平坦で地盤のかたい所で行ってください。

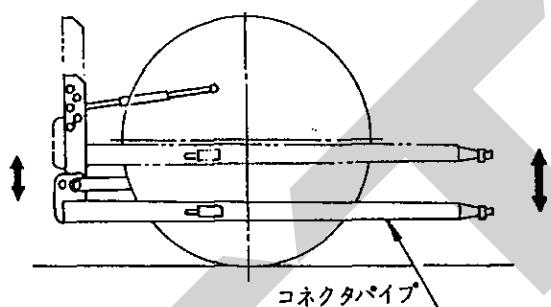
- (1) トラクタのエンジンを始動して、トラクタのロワーリンク先端部とドッキングフレームの左右のロワーリンクピンの位置が合うまで後進して、トラクタをとめてください。
エンジンをとめ、駐車ブレーキをかけてください。
- (2) 左のロワーリンクを連結し、抜けどめにトラクタに付いているリンチピンをロワーリンクピンに差してください。
次に、右のロワーリンクも同順で行ってください。
- (3) 左右のロワーリンクが同じ高さになるように、トラクタ右側のアジャストスクリューで調整してください。
- (4) トラクタロワーリンクの幅が狭い場合は、ロワーリンクピンを内向きで使用してください。
- (5) トラクタのエンジンを始動し、トラクタ3点リンクを昇降する油圧レバーを操作してドッキングフレームを少し上げ、エンジンをとめてください。
- (6) P I C軸心がトラクタ中心におおよそ一致する位置に、チェックチェーンでセットし、本機の横振れをなくしてください。
- (7) スタンドを上げ、デルタピンで固定してください。

(8) コネクタパイプは3段階に調整できます
コネクタパイプとトラクタとのスキ間は10cm
～15cmにしてください。



(9) ドッキングフレームのコネクタパイプが水平もしくは先端が少し上向きに上下するよう
に5段階の穴で調整してください。

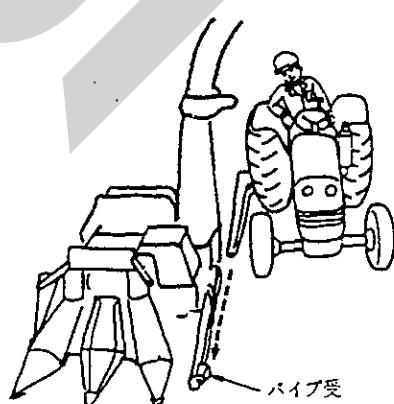
トップリングピンの位置をトラクタ側が高
くなるように取り付けるとほぼ水平に上下し
ます。



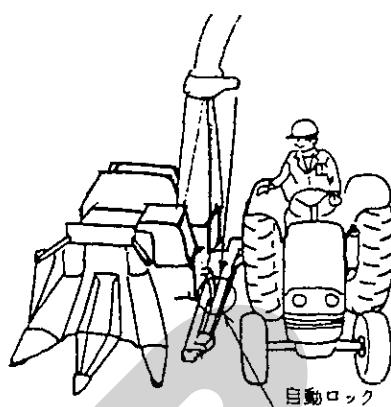
2. ドッキングフレームとハーベスター本体の連結

(1) サイドマウント作業

① 本体後方より接近し前進しながらコネク
タパイプ受にコネクタパイプ先端を差し込
みます。



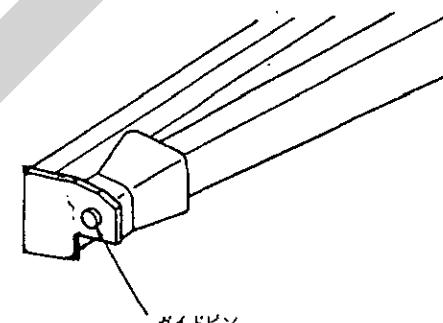
② コネクタパイプ先端が差し込まれたら油
圧で本体を持ち上げ、さらに前進すると自
動ロックにより本体とドッキングフレーム
が固定されます。



取扱い上の注意

ガイドピンがコネクタパイプ受前部からで
ていることを確認してください。(約30mm)
ガイドピンは作業中、本体の脱落を防止す
るものでです。

(ガイドピンが出ない時は「6 不調時の対
応」で確認してください)

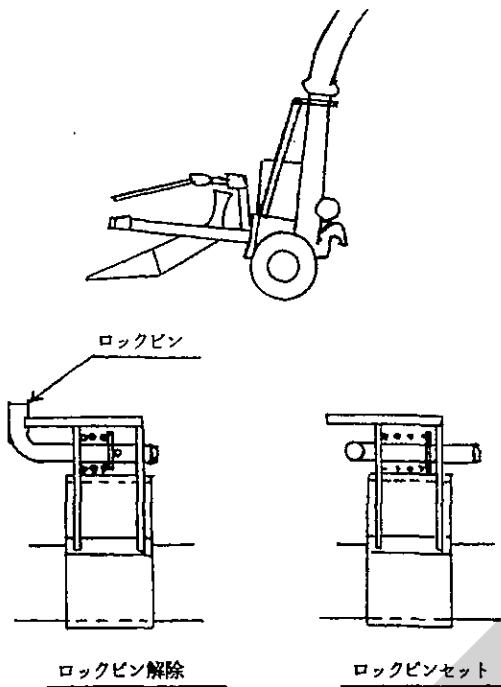


③ 本体P I C軸のパワージョイントを、ドッ
キングフレームのギャケースのP T O軸と
連結し安全カバーの回り止めをしてくださ
い。

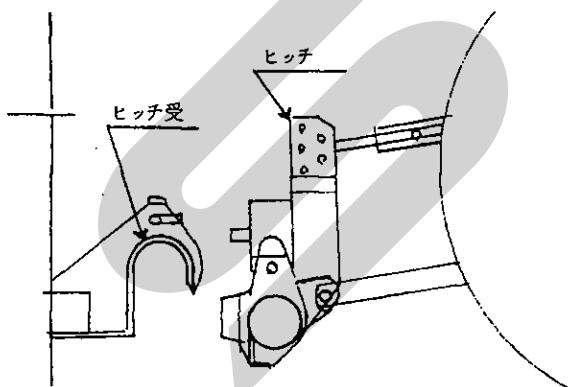
(2) リバース作業

① ドッキングフレームのコネクタパイプを垂直に立て一番短くなる位置にロックピンで固定します。(中割、枕地作業)

本体側のロックピンをストップよりはずしフリーの状態にします。このとき、本体側の姿勢が後傾しているか確認してください。(本体側のタイヤの高さで調整します)



② 本体後方よりバックで接近し油圧操作によりヒッチパイプでヒッチ受をすくい上げてください。ロックピンが自動的にセットされます。



取扱い上の注意

ロックピンは作業中に本体の脱落を防止するものですから必ずセットされているか確認してください。

3. スイッチボックスの取付・配線

(ショート・ヘッドのリモコン操作)

(1) コード；1(電源コード)をバッテリーター ミナルへの取付ます。

コード；1(電源コード)のターミナルは トランクタのバッテリーコードのターミナルを 止めているボルトと共に締めにしますのでバッ テリーから(-)、(+)共にコードを外してください。

(コードを外すときは(-)側から外してください。)

トランクタのバッテリーコードのナットを外 しコード；1(電源コード)のターミナルを 取り付けナットを締め付けます(バッテリーターミナルへ取り付けるときは(+)側から 取り付けてください)

コードの極性は、白色が(+)、黒色が(-) です。

▲注 意

- バッテリからバッテリケーブルを外すときは(-)側から外し、取り付けるときは(+)側から行なってください。
もし、逆にすると作業中工具がトランクタに 接触した場合、火花が生じ、火災事故の原 因になります。

取扱い上の注意

コード；1(電源コード)をバッテリーター ミナルへ取り付ける時の誤作動を防ぐためス イッチボックスに取り付けずコード単体で行 なってください。

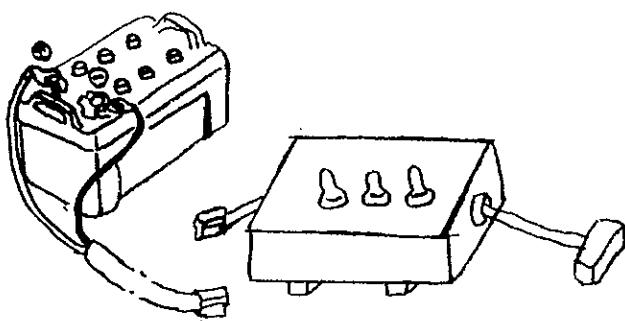
(2) スイッチボックスをトランクタの操作し易い 場所にとりつけてください。

スイッチボックスの取付は、磁石で行うの で、できるだけ平らな面にとりつけてください。

(3) コード；1のソケットとスイッチボックス のソケットを接続してください。

(4) 本体側のヘッド・ショート・クラッチ用コ ードのソケットとスイッチボックスのソケット を接続してください。

- (5) 取り付け終了後は、各スイッチが表示通りの作動をするか確認してください。



取扱い上の注意

アタッチメントの取り付けは、それぞれの取扱説明書をお読みください。

5 パワージョイントの装着

本作業機には、専用のパワージョイントが付いていますので、他のパワージョイントで代用しないでください。

▲ 危険

- カバーのないパワージョイントを使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。カバーのないパワージョイントは、使用しないでください。
- カバーが損傷したまま使用すると、巻き込まれてケガをする事があります。
損傷したらすぐに、取り替えてください。
使用前には、損傷がないか点検してください。
- トランクタおよび作業機に着脱する時第三者の不注意により、不意にパワージョイントが回転し、ケガをする事があります。
PTOを切り、トランクタのエンジンをとめてから行ってください。
- カバーのチェーンを取り付けないで使用すると、カバーが回転し、巻き込まれてケガをする事があります。
トランクタ側と作業機側のチェーンを回転しない所に連結してください。

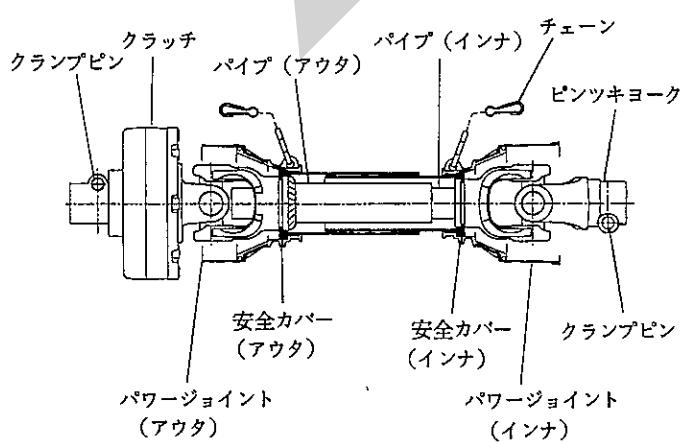
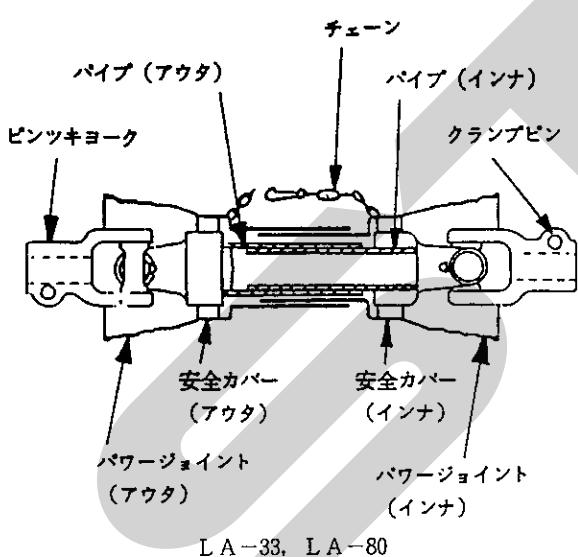
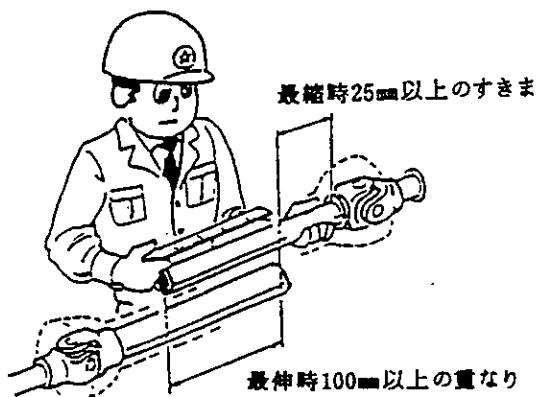
▲ 注意

- 最伸時の重なりが100mmを下回ると、ジョイントを回転させた時、破損しケガをする事があります。
最縮時の隙間が25mmよりも小さくなると、ジョイントの突き上げが起きることがあり、ジョイントの破損をまねき、ケガをする事があります。
適正な重なり量で使用してください。

1. 長さの確認方法

- (1) パワージョイント単体で、最縮長時の安全カバー（アウタ）端部位置を安全カバー（インナ）にマーキングしてください。
- (2) パワージョイント（アウタ）から、パワージョイント（インナ）を引き抜いてください。
- (3) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPIC軸が最も接近する位置で、昇降を停止してください。
- (4) ピン付きヨークのクランプピンを押して、PTO軸、PIC軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

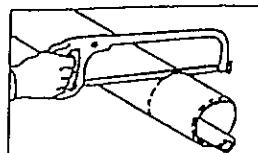
- (5) 安全カバー同士を重ね合わせた時、安全カバー（アウタ）端部位置とマーキング位置の間隔が25mm以下の場合は、25mmの間隔を保つように切断方法の手順に従って切断してください。
- (6) 3点リンクを昇降させて、PTO軸とPI-C軸が最も離れる位置で、昇降を停止してください。
- (7) 安全カバー同士を重ね合わせた時、パイプ（アウタ）とパイプ（インナ）の重なり量が100mm以下の場合は、販売店に連絡し、長いパワージョイントと交換してください。



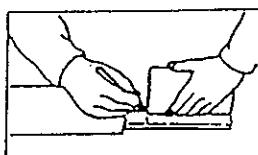
0 S G B - 045

2. 切断方法

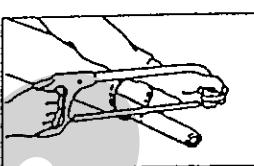
- (1) 安全カバーのアウタ・インナの両方を長い分だけ切り取ります。



- (2) 切り取った同じ長さのパイプの先端から計ります。



- (3) パイプのアウタ・インナ両方を金ノコまたはカッターで切断します。



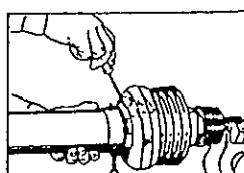
切断する時は、パイプの中にウエスを詰め、パイプの内面に切り粉が付着するのを防いでください。

- (4) 切り口をヤスリなどでなめらかに仕上げてからよく清掃し、次にグリースを塗布して、アウタとインナを組み合せます。

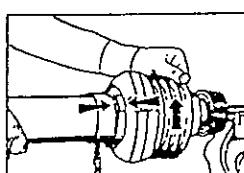
3. 安全カバーの脱着方法

- (1) LA-33, LA-80の場合
〈安全カバーの分解手順〉

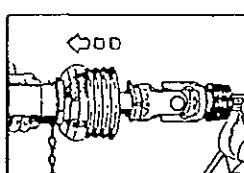
- ① 固定ねじを取り外してください。



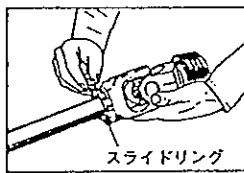
- ② 安全カバーを取はずし位置へ回してください。



- ③ 安全カバーを引き抜いてください。

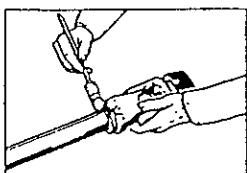


- ④ スライドリングを取り出してください。

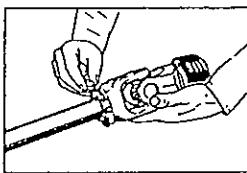


〈安全カバーの組立手順〉

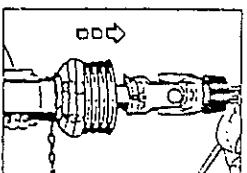
- ヨークのスライドリング溝とパイプ（インナ）に高品質のグリースを塗ってください。



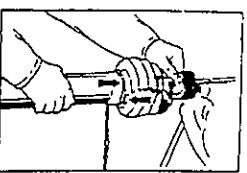
- スライドリングのつばをパイプ側にむけ、切口を開いて溝にはめてください。



- その上に安全カバーをはめてください。



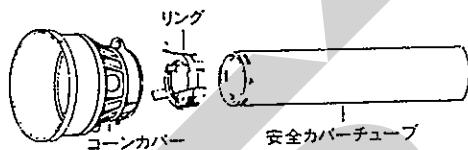
- カバーをしっかりと止まるまで回してください。



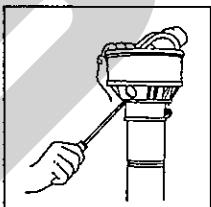
- 固定ねじを締め付けてください。

(2) OSGB-045の場合

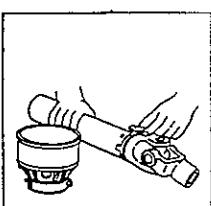
〈安全カバーの分解手順〉



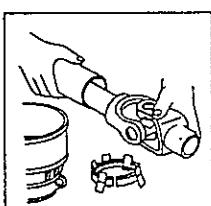
- ドライバーでコーンカバー3穴よりリングのツメを押して、コーンカバーを取り外してください。



- 安全カバーチューブよりリングを取り外してください。

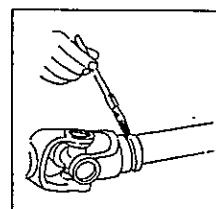


- パイプより安全カバーチューブを抜き出してください。

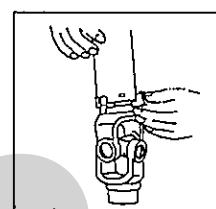


〈安全カバーの組み立て手順〉

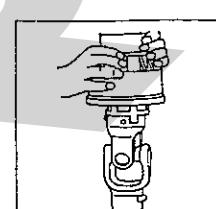
- リング止溝にグリースを塗ってください。



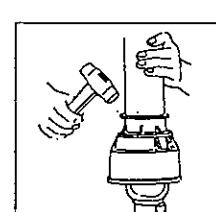
- リングを止溝にはめ込み、安全カバーチューブを取り付けてください。



- リングとコーンカバーのグリース穴を合わせながら、コーンカバーを取り付けてください。



- コーンカバーを軽くたたき、3つのツメがコーンカバーに確実にはまっていることを確認してください。



4. パワージョイントの連結

サイドマウント作業時には、トラクタからの動力伝達にOSGB-045とドッキングフレームからの動力伝達のためにLA-80の2本のパワージョイントを使用します。

又、リバース作業時には、トラクタからの動力伝達のためにOSGB-045のパワージョイントとドッキングフレームからの動力伝達のためにLA-33の2本のパワージョイントを使用します。それぞれ指定品を御使用ください。

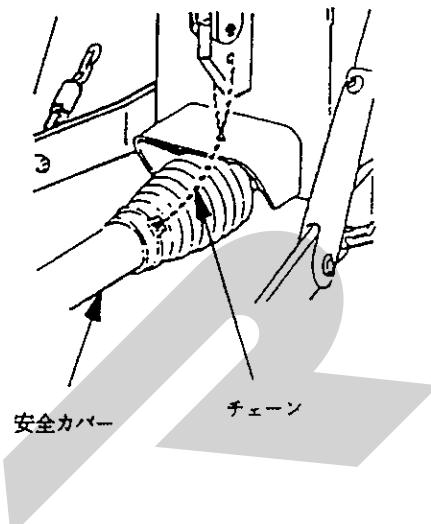
- (1) ピン付きヨークのクランプピンを押して、それぞれの軸に連結し、クランプピンがもとの位置に出るまで押し込んでください。

▲ 注意

- パワージョイントを接続した時、クランプピンが軸の溝に納まっていると、使用中に外れ、ケガをすることがあります。
溝に納まっているか、接続部を押し引きして確かめてください。

- (2) 安全カバーのチェーンを固定した所に取り付け、カバーの回転を防いでください。

チェーンは3点リンクの動きに順応できる余裕を持たせ、また他への引っかかりなどがないように余分なたるみを取ってください。



2 運転を始める前の点検

機械を調子よく長持ちさせるため、作業前に必ず行いましょう。

1 運転前の点検

1. トラクタ各部の点検

トラクタの取扱説明書に基づき点検を行ってください。

2. 連結部の点検

- (1) 三点リンクと3点フレームの連結部点検
- ① ロワーリンクピン・トップリンクピンのリンチピン・ベータピンは、確実に挿入されているか。
 - ② チェックチェーンは張られているか。
 - ③ 不具合が見つかった時は、「1-4-1 3点リンクへのドッキングフレームの連結」の説明に基づき不具合を解消してください。

(2) パワージョイントの点検

- ① ジョイントの抜け止めのクランプピンが軸の溝に納まっているか。
- ② ジョイントカバーのチェーンの取付に余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ ジョイントカバーに損傷はないか。
損傷している時は、速やかに交換してください。
- ④ 不具合が見つかった時は、「1-5 パワージョイントの装着」の説明に基づき不具合を解消してください。

(3) 油圧系統の点検

- ① トラクタの外部油圧取出へのカプラの接続は確実に行なわれているか。
- ② 油圧ホースに余分なたるみはないか。また、適度な余裕があるか。
- ③ 不具合が見つかった時は、「1-4-3 トラクタ油圧取出口との接続」の説明に基づき不具合を解消してください。

(4) 電気系統の点検

- ① 電源コードは確実にバッテリーターミナルへ接続されているか。
- ② 電源コードとスイッチボックスのターミナルは確実に接続されているか。
- ③ スイッチボックスのターミナルと本機側のコードのターミナルは確実に接続されているか。
- ④ スイッチボックスのヒューズは切れていないか。

(5) 製品本体の点検

- 特に、下記部分はケガの原因になりますので、使用前の点検を習慣にしてください。
- ① ナイフ取り付けボルトにゆるみはないか。
 - ② ナイフホルダ取り付けボルトにゆるみはないか。
 - ③ シャバーの固定ボルトにゆるみはないか。
 - ④ 各部の給油、注油、給脂は十分か。

2 エンジン始動での点検

1. トラクタ油圧系統に異常はないか。

トラクタ油圧を操作して3点リンクを上昇し、作業機を持ち上げた状態で、降下がなければ異常はありません。

2. トラクタ外部油圧系統に異常はないか。

トラクタ油圧を操作し、アタッチメントを上昇させた状態で、降下がなければ異常はありません。

トラクタ油圧系統に異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3. アタッチメントの昇降速度は適正か

アタッチメントの昇降速度を確認してください。

速すぎる時は、トラクタの油量調整バルブで調整してください。

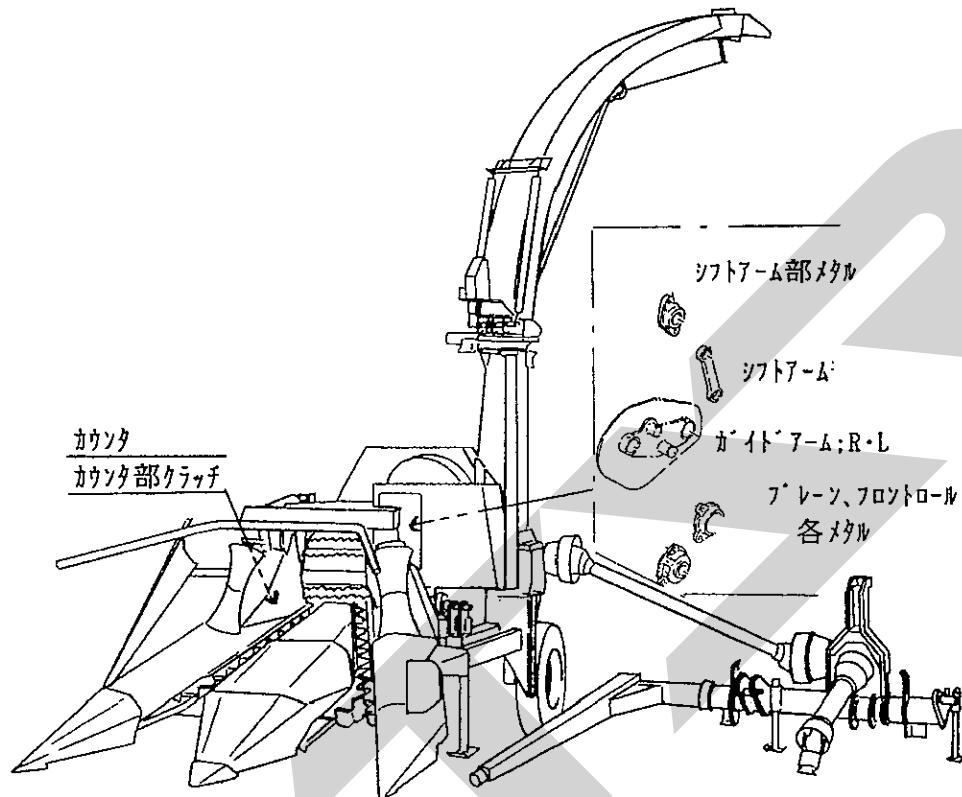
4. 電装品関係の動作に異常はないか

シート、ヘッド及びクラッチの動作が適正か確認してください。

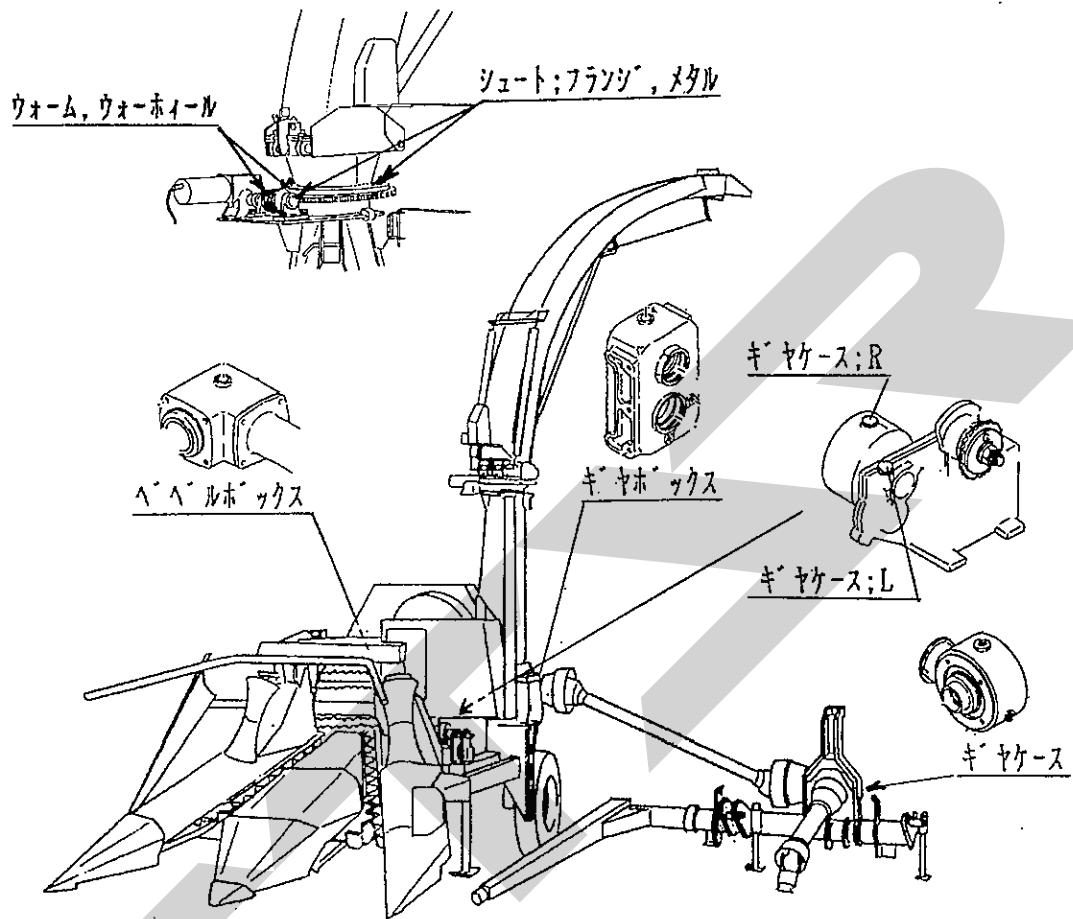
トラクタ電気系統に異常がある時は、トラクタ販売店にご相談ください。

3 給油箇所一覧表

- 給油、塗布するオイルは清浄なものを使用してください。
- グリースを給脂する場合、適量とは古いグリースが排出され新しいグリースが出るまでです。
- 毎日の作業前にかならず給油しましょう。



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ブレーン、フロントロール各メタル	4	グリース	使用毎	適量 "	グリースニップル
2	ガイドアーム；R・L	4	"	"	"	"
3	リフトアーム	4	"	"	"	"
4	シフトアーム部メタル	2	"	"	"	"
5	カウンタ	1	"	"	"	"
6	カウンタ部クラッチ	1	"	"	"	"



No.	給油場所	個所	潤滑油の種類	交換時間	量	備考
1	ギヤケース	1	ギヤオイル#90	使用当初25~30時間 その後シーズン毎に交換 始業点検時確認	レベル迄	始業点検時 確認補給
2	ベベルボックス	1	"			
3	ギヤボックス	1	"			
4	ギヤケース；R	1	"			
5	ギヤケース；L	1	"			
6	シュート；フランジ、メタル	6	グリース	使用毎	適量	グリースニップル
7	ウォーム、ウォーホイール	1	"	"	"	グリース塗布
8	ローラチェーン	6	オイル	"	"	オイル塗布
9	コネクタ；スライド部	1	グリース	"	"	グリースニップル
10	スパイダ（ジョイント）	8	"	"	適量	"

3 作業の仕方

安全を確認して慎重に作業してください。

1 本製品の使用目的

本製品単体では、作業はできません。
作業対象物に応じた、アタッチメントを選択して使用してください。

1. ロークロップアタッチ装着時

長稈作物（デントコーン、トウモロコシ、ソルガム）の条播の刈り取りに使用します。
これ以外の目的には使わないでください。

2. ピックアップアタッチ装着時

牧草の拾い上げ・細断に使用します。
これ以外の目的には、使わないでください。

2 作業要領

本作業機は、リバース作業とサイドマウント作業が出来ます。
作業の手順はA R C 3520、A P U3500それぞれの取扱説明書を御覧ください。

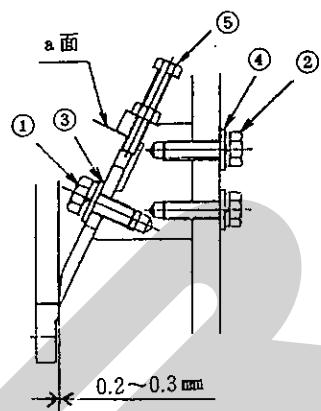
3 各部の調整（快適な作業のために）

1. ナイフの調整

▲ 注意

- ナイフを調整する時不意にフライホイールが回転し取り付けられたナイフでケガをすることがあります。
フライホイールの回り止めを確実に行い、作業してください。

(3) ナイフ調整後、ボルト⑤はa面まで戻して固定してください。

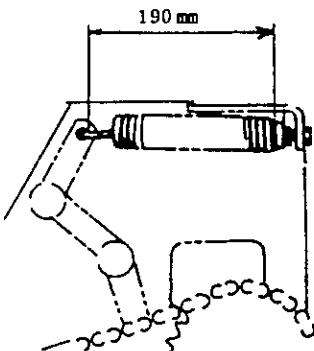


取扱い上の注意

- ナイフ取付ボルト及びワッシャは特殊品を使用しています。S T A R 純正品以外は絶対に使用しないでください。

2. ロールスプリングの調整

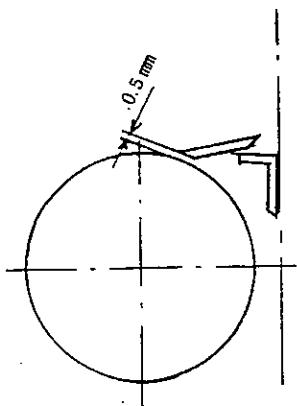
ロールスプリングの張りは190mmになるよう調整します。



- (1) ナイフとシャバーのスキマは、0.2~0.3mmです。ナイフの押しボルトでスキマを確認しながら調整してください。
- (2) ナイフ取り付けボルト①及びナイフホールダ取り付けボルト②の締付けトルクは16kg·mです。

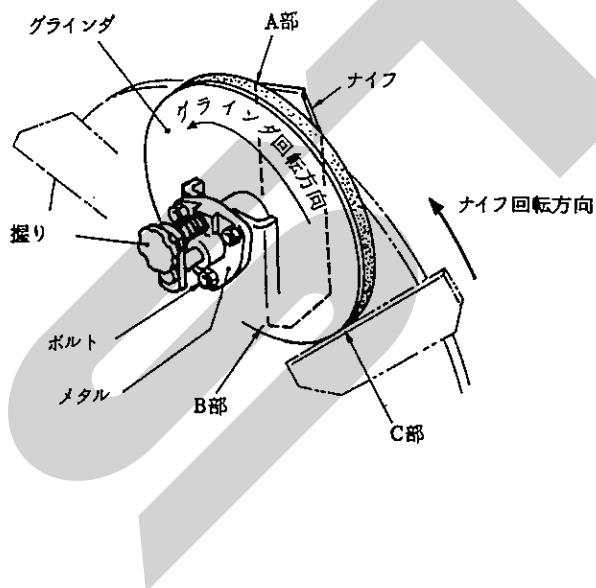
3. スクレーパの調整

プレーンロールとスクレーパのスキマは、0.5mm位に調整します。



4. 研磨装置

グラインダの面とナイフの刃合わせは図のメタルを取り付けている3ヶ所のボルトで行ないます。グラインダも垂直方向(図のA・B部)でナイフの刃がグラインダ面で当たるようになります。このとき、ナイフが回転してグラインダ面に当りはじめる図のC部でナイフとグラインダ面に0.1~0.2mmのスキマを確保してください。



5. ナイフの調整

ナイフが摩耗したままで使用すると切断長不均一、所要馬力アップなど性能低下の原因となります。

以下の手順で研磨してください。

▲ 警 告

- ナイフを研磨する時、ナイフに接触するとケガをすることがあります。
ナイフの研磨手順に基づき行なってください。

▲ 注 意

- ナイフを研磨する時目に飛散物が入りケガをすることがあります。
保護メガネを着用してください。

〈研磨装置〉が調整の通りになっているか、確認してください。(フライホイールを手で回しグラインダが4. 研磨装置の図のように回転するか確認してください。)

- (1) トップケーシングを取り付け、グラインダカバーを開けてください。
- (2) 握りを回してグラインダをナイフに近付けます。トラクタのPTOを最低速で入れスイッチを操作しロールの回転を止めてください。(クラッチ中立の状態です)
- (3) 握りを回してグラインダをナイフにゆっくりと近づけます。グラインダとナイフが接触するとグラインダが回り始めます。
- (4) 回りはじめたら約20度を目安に握りを回し研磨してください。
- (5) 研磨が終ったらトラクタのエンジンを停止させます。

作業機の回転が完全に停止したことを確認してグラインダを戻し、グラインダカバーを閉じてグラインダでグラインダカバーを押さえてください。

6. 切断長の調整

切断長はギヤボックスの替えギヤとナイフの枚数により調整します。

(1) 替えギヤでの調整はギヤの組替えで行います。

(2) ナイフでの調整は6枚刃（標準）か、3枚刃か、2枚刃かで行ないます。

上軸	下軸	6枚刃	3枚刃	2枚刃
17T	19T	10mm	20mm	30mm
19T	17T	12mm	24mm	36mm
20T	16T	14mm	28mm	42mm

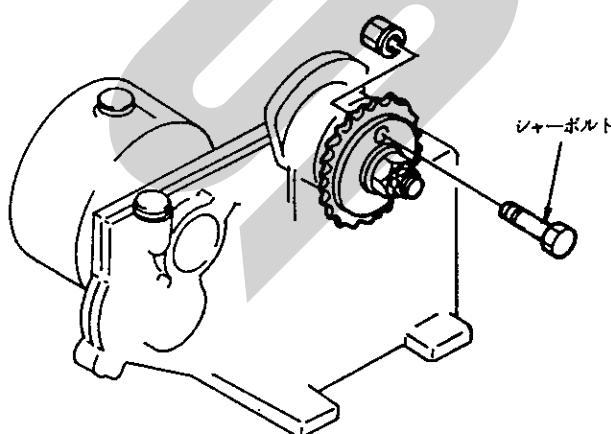


7. シャーボルト

図に示すシャーボルトは過負荷時、このボルトが切断し供給部への動力の伝達を停止し、作業機の損傷を防止します。

ボルトを交換しましたらシャーボルトホルダに給脂してください。

付属品としてシャーボルト (M 8 × 32) が3本用意してあります。予備のシャーボルトの格納場所を用意してありますので御利用ください。



取扱上の注意

このシャーボルトはSTAR純正品を使用してください。

8. タイヤの空気圧

タイヤサイズ	空 気 圧
10/80-12-6 P R	255KPa (2.6kgf/cm ²)
6.00-9-10 P R	685KPa (7.0kgf/cm ²)

9. クラッチ

ギヤケース内に内蔵されたクラッチにより正転、逆転ができます。

取扱上の注意

クラッチ操作はトラクタのPTO速度を低速 (250~300rpm) にして行ってください。

高速 (400~540rpm) で使用するとシャーボルト及びクラッチノッチが切損する事があります。回転速度をおとしてから操作してください。

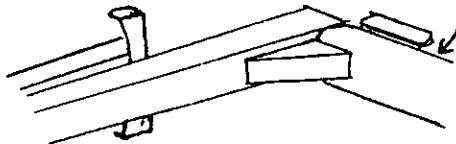
- (1) スイッチボックスの表示の正側に押し続けると正転します。 ~通常作業
- (2) スイッチボックスの表示の逆側に押し続けると逆転します。 ~ロール及びアタッチの駆動が逆転します。
- (3) ロール及びアタッチの駆動が停止した位置でスイッチを中立にすると停止状態を保持できます。

4 運 搬

本作業機は機体幅が広い作業機です。移動する時は、トラクタ後部にけん引するか（リバース作業）状態で移動します。

1. 本体の取り外し

- (1) ハーベスター本体カッタ部のパワージョイントをギヤケースからはずしジョイント受に置きます。
スイッチボックスからソケットをはずしてください。
- (2) トラクタの3点リンクの油圧レバーを下げて油圧をフリーの状態にします。
- (3) コネクタパイプ後部のレバーを矢印の方向にたおすとガイドピンが抜けコネクタパイプが下へはずれます。
- (4) コネクタパイプがカウンタパイプに接触していないか確認しながら静かに前進してください。



▲ 注意

本作業機はトレッドが狭いため旋回時、凹凸地・傾斜地の走行時転倒してケガをする事があります。

低速走行してください。

4 作業が終わったら

長持ちさせるために、手入れは必ずしましょう。

▲ 注意

- 動力を切らずに、回転部、可動部に付着したゴミ、草などの除去作業を行うと、機械に巻き込まれてケガをする事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっている事を確かめて行ってください。

1 作業後の手入れ

1. 機械の上にかかっている牧草等は、ほ場の中できれいに取り除いてください。
特に、回転部に巻き付いた草は、シール部品、軸受部品などを傷つけますので、完全に取り除いてください。
2. ボルト、ナット、ピン類の緩み、脱落がないか。又、破損部品がないか確認してください。
異常があれば、ボルトの増締め、部品の交換をしてください。

3. PTO軸、P I C軸、ジョイントスライド部など塗装されていない露出部は、さびを防ぐためグリースを塗布してください。

2 長期格納する時

1. 機械各部の清掃をしてください。
2. 摩耗した部品、破損した部品は、交換してください。
3. 「2-3 給油箇所一覧表」に基づき、油脂を補給してください。
また、回転、回動支点およびパワージョイントのクランプピンを含む摺動部には注油し、PTO軸、P I C軸、パワージョイントのスライド部にはグリースを塗布してください。
4. 塗装損傷部を補修塗装、または、油を塗布し、さびの発生を防いでください。
5. 格納は風通しの良い屋内に保管してください。

5 点検と整備について

調子よく作業するために、定期的に行いましょう。機械の整備不良による事故などを未然に防ぐために、「点検整備一覧表」に基づき、各部の点検整備を行い、機械を最良の状態で、安心して作業が行えるようにしてください。

1 点検整備一覧表

▲注意

- PTOおよびエンジンとめずに作業すると、第三者の不注意により不意に作業機が駆動され、思わぬ事故を起こす事があります。PTOを切り、エンジンをとめ、回転部や可動部がとまっていることを確かめて行ってください。
- 不調処置・点検・整備のために外したカバー類を取り付けず作業すると、回転部や可動部に巻き込まれ、ケガをする事があります。
元通りに取り付けてください。

時 間	チ ケ ッ ク 項 目	処 置
新 品 使用 1 時 間	全ボルト、ナットの緩み	増し締め
使 用 後 25 ~ 30 時 間	ギヤケースのオイル	オイル交換
使 用 毎 (始業終業点検)	①機械の清掃 ②ギヤケースのオイル ③部品脱落・破損部 ④各部のボルト・ナットの緩み ⑤各部油もれ ⑥各部の油脂類 ⑦ナイフとシャバーのスキマ ⑧プレーンロールとスクレーパのスキマ ⑩ナイフのスキマ ⑪ナイフ研磨 ⑫タイヤ空気圧	給油 補充、交換 増し締め シールチェック、破損時交換 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂 異常があれば 「3-3 各部の調整」に基づき チェック
シ ー ズ ン 終 了 後	①ギヤケースのオイル ②各部の破損、摩耗 ③各部の清掃 ④各部の給油、給脂 ⑤チェーン、回動支点等の摩耗 ⑥塗装損傷部	交換 早めの部品交換 「2-3 純正部品一覧表」に基づき給油、給脂 早めの部品交換

6 不調時の対応

エンジンをとめてから点検してください。

トラブルが発生したら、「不調処置一覧表」に基づき処置してください。

1 不調処置一覧表

症 状	原 因	処 置
ショート・ヘッドが動かない	①バッテリとコントロールBOXの接続不良 ②ヒューズが切断 ③コントロールBOXスイッチ故障	配線をやり直す。白線(+)黒線(-)ヒューズを交換する。 スイッチを交換する。
ギヤケース異常発熱	①オイル量が不足 ②ベアリング、ギヤ、シャフト損傷	適正量までオイルを注入する。 部品を交換する。
切断物の飛びが悪い	①供給物の水分が多い ②回転速度不足	供給物の水分調整をする 適正回転速度にする。
フィードロール食い込みが悪い	①供給量が多い ②ロールスプリングの張り不足	車速を落とす スプリング長さ190mmにする。
切断長さが不均一となる	①ナイフが摩耗 ②ナイフとシャバーの隙間が大きい	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。 ナイフとシャーバーの隙間を再調整する
馬力を喰う	①ナイフが摩耗	ナイフを研磨する。 ナイフを交換する。

原因や処置のしかたがわからない場合は、下記事項とともに購入先にご相談ください。

1. 製品名
2. 部品供給型式（型式）
3. 製造番号
4. 故障内容（できるだけ詳しく）

7 部品表

部品のご注文について

1. 部品ご注文の際は、下記項目をご連絡ください。

- ① 製品名
- ② 部品供給型式（型式）
- ③ 部品名称（部品表を参照してください）
- ④ 部品番号（ “ ” ）
- ⑤ 個数（ “ ” ）

※部品供給型式は取説・部品表表紙および本体に貼付のネームプレートに表示しています。

2. 部品名称欄に「見付」と表示している部品は、該当見出番号の部品が付属されております。

（例）

見出番号	部品番号	部分名称	個数
1	92602	シャフト	見付 2付
2	ONAS6G	グリースニップル；A-M6×1F	6

このシャフトには、見出番号2のグリースニップルが取り付けられている事を示します。

3. 使用型式により、部品番号や個数が異なる場合は、部品名称欄に注記していますのでご注意ください。

4. ボルト・コネジ・ナット類の部品番号末尾に記載されている英文字は以下のことを表しております。

（例）BZ0815A (G)

(メッキ仕上げ)
A ; ナット・スプリングワッシャ付
D ; ナット2個付
N ; ナット付
P ; ワッシャ付
W ; スプリングワッシャ付

5. 個数欄の□・□は、以下のことを表しております。

□…シムなど、組み込まれている個数が製品個々により異なる部品。

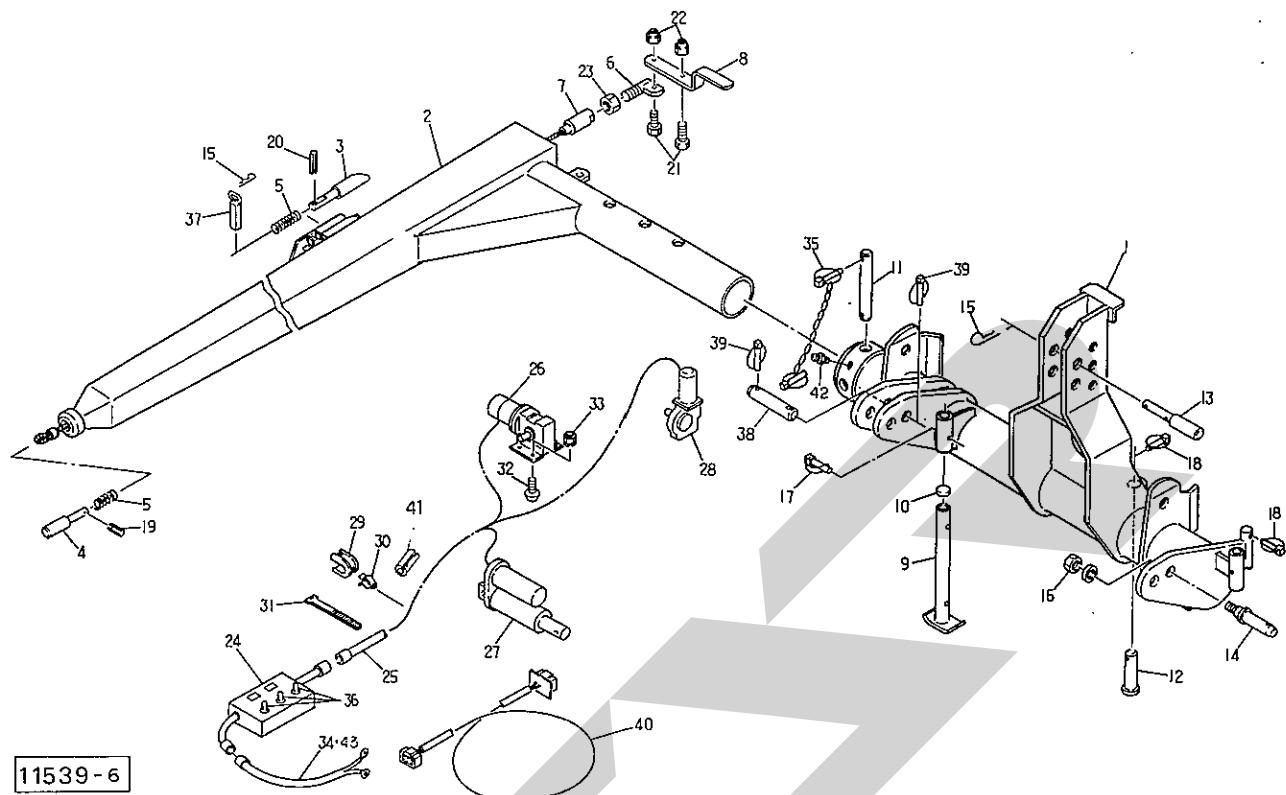
□…アッセイ品に含まれる部品で、単品では供給しない部品。

補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

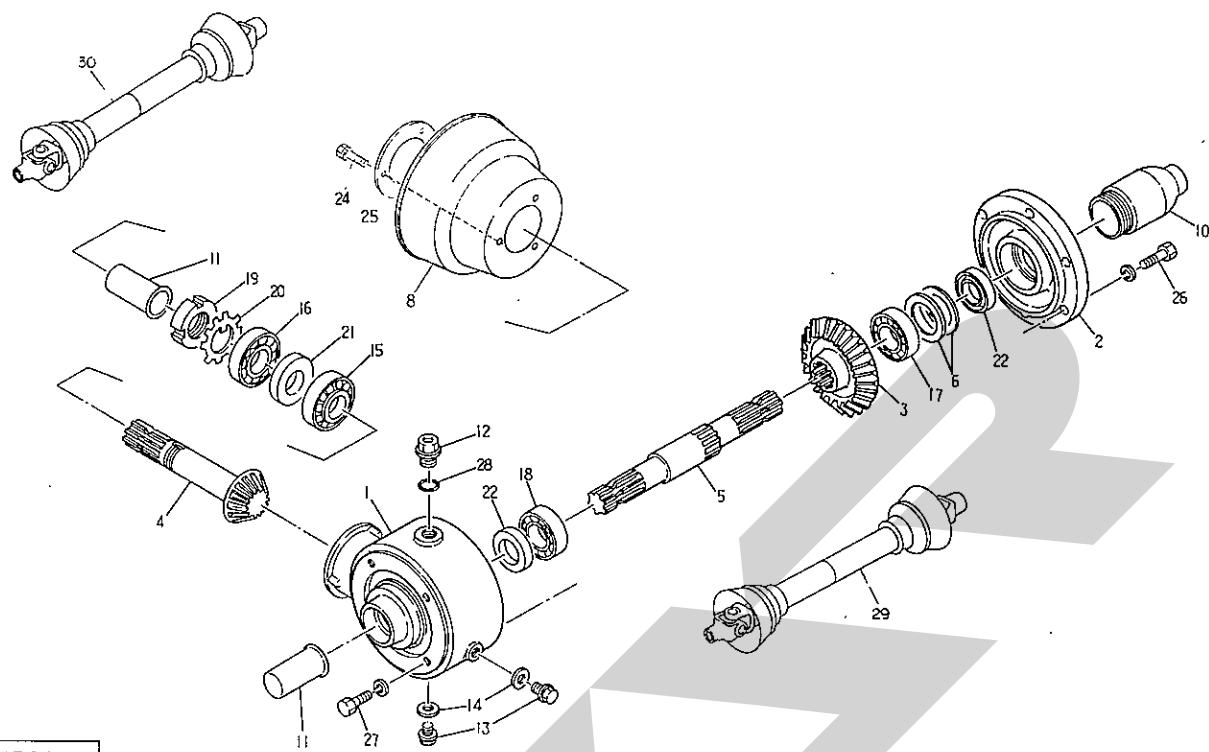
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ヒッチ・デンソウ



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	81418	ヒッチ	1	26	94325	TMウォームゲンソクキ	1
2	81378	コネクターパイプ	1	27	81442	デンドウシリンダ	1
3	57960	ロックピン	1	28	70351	パワーウィンドモータ	1
4	59672	ガイドピン	1	29	EZA1S	パイラック；1S型	1
5	57897	スプリング	2	30	EZB15C	パイラッククリップ；15-C	2
6	67925	ホルダー	1	31	ILT50R	インシュロック；T50R	1
7	81083	ワイヤー	1	32	CP0620G	ナベコネジ；M6×20	4
8	74611	レバー	1	33	NP06G	スプリングナット；M6	4
9	00701	スタンド；250	2	34	82879	コード；1 (43付)	1
10	00458	キャップ；29	2	35	84348	チェーン	1
11	81417	ピン	1	36	84072	スイッチ；S-338	3
12	82173	ピン	1	37	89930	ピン	1
13	00098	トップリングピン；I、II	1	38	70638	ピン	1
14	00011	ロワーリングピン (16付)	1	39	PR12G	リンチピン；12	2
15	00088	ベータピン；19×3	2	40	87457	アダプタコード オプション	1
16	NZ24150WG	ナット；M24×1.5	1	41	71685	パイプ	1
17	00453	デルタピン；9	2	42	ONAS1	グリースニップル；A-PT 1/8	1
18	00739	リンチピン；9	2	43	FU30A	ヒューズ；30A	1
19	PS6018	スプリングピン；6×18	1				
20	PS6032	スプリングピン；6×32	1				
21	BZ1030G	ボルト；M10×30(8.8)	2				
22	NN10G	ナイロンナット；M10	2				
23	NZ12G	ナット；M12(8)	1				
24	82878	スイッチボックス	1				
25	82880	コード；2	1				

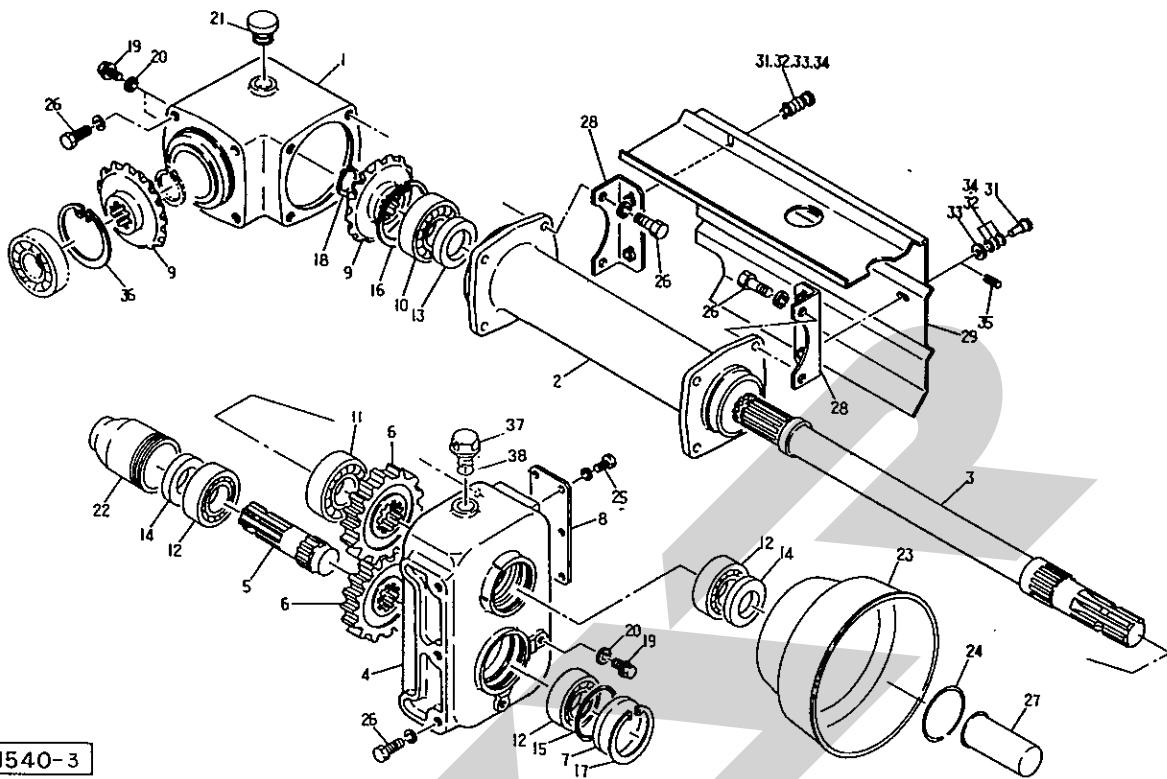
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ギヤボックス



11538 - 3

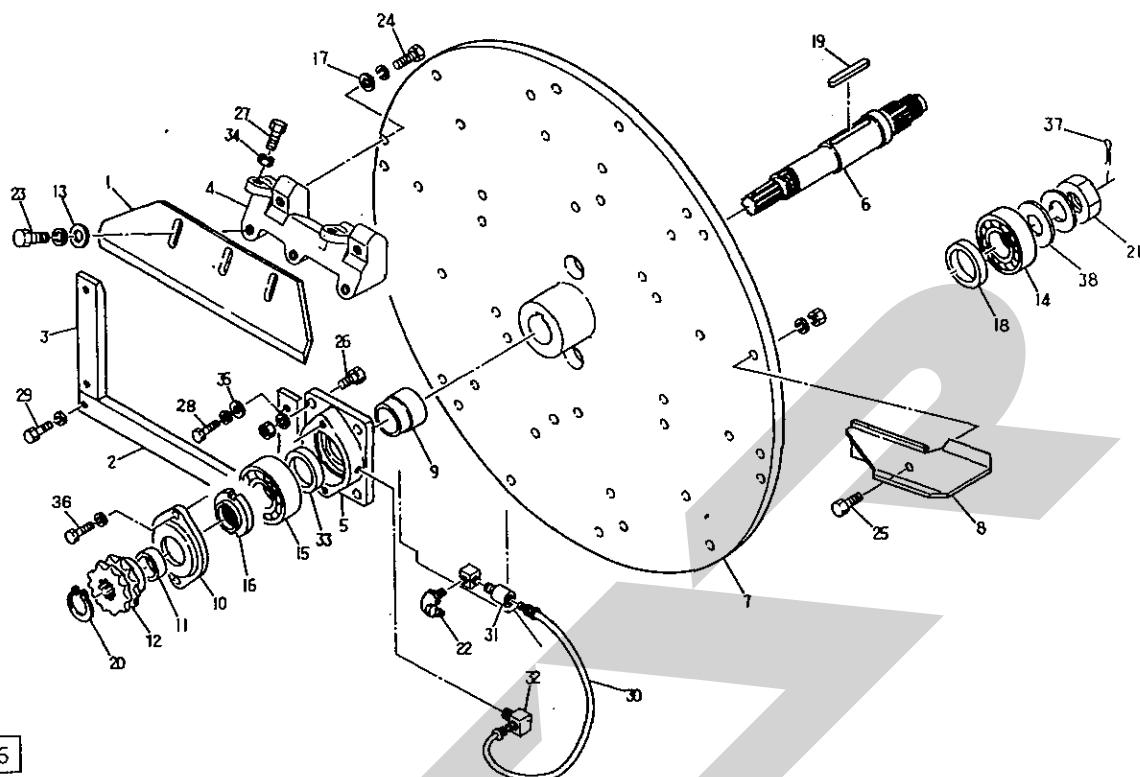
品番	部品番号	部品名称	個数	品番	部品番号	部品名称	個数
1	92936	ギヤケース	1	26	BZ1030WG	ボルト; M10×30(8.8)	6
2	81377	サイドキャップ	1	27	BZ1240WG	ボルト; M12×40(8.8)	4
3	82466	ベベルギヤ; 27T	1	28	ORP20	Oリング; P20	1
4	82467	ベベルピニオン; 16T	1	Asy	82562Asy	ギヤケース(クミ) ⑧1~28付	1
5	81089	シャフト	1	29	102498	パワージョイント; OSGB-045	1
6	82882	シム	—	30	00634	パワージョイント; LA-80	1
8	00827	PICカバー; ■	1				
10	34616	ガード	1				
11	96089	PICキャップ; 35	2				
12	59133	チェックプラグ; PF 1/2	1				
13	00338	プラグ; M10	2				
14	00339	パッキン(M10プラグ用)	2				
15	J30208	テーパペアリング; 30208	1				
16	J6208LLU	ペアリング; 6208LLU	1				
17	J6208	ペアリング; 6208	1				
18	J6207	ペアリング; 6207	1				
19	NJAN08	ペアリングナット; AN08	1				
20	WAW08	ペアリングワッシャ; AW08	1				
21	D40721	オイルシール; D407210	1				
22	D35558	オイルシール; D35558	2				
24	BP0816G	スプリングボルト; M8×16	3				
25	95984	リング; 100	1				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ベベルボックス



番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	84338	ベベルボックス	1	26	BZ1230WG	ボルト; M12×30(8.8)	15
2	84339	フランジ	1	27	00096	Picキャップ; 35	1
3	92898	シャフト	1	28	82793	プラケット	2
4	92899	ギヤボックス	1	29	82794	カバー; 1	1
5	81320	シャフト	1				
6	81321	ギヤ; M5.5×20T	2	31	79658	ニギリ; 40	2
7	81322	キャップ	1	32	58306	シム	2
8	82477	プレート	1	33	44097	ワッシャ	2
9	84341	ベベルギヤ; M5.5×20T	2	34	79659	サラバネ	6
10	J6208	ペアリング; 6208	1	35	PS4016	スプリングピン; 4×16	2
11	J6208LU	ペアリング; 6208LU	1	36	DHC90	スナップリング; H90	1
12	J6207	ペアリング; 6207	3	37	59133	チェックプラグ; PF 1/2	1
13	D45629	オイルシール; D45629	1	38	ORP20	O'リング; P20	1
14	D356210	オイルシール; D356210	2				
15	ORG75	O'リング; G75	1				
16	DHC80	スナップリング; H80	1				
17	DHC75	スナップリング; H75	1				
18	DC40	スナップリング; S40	1				
19	00338	プラグ; M10	4				
20	00339	パッキン(M10プラグ用)	4				
21	00717	チューユセン; 23	1				
22	34616	ガード	1				
23	00824	PICカバー; II	1				
24	00825	リング; S	1				
25	BZ0816WG	ボルト; M8×16(8.8)	6				

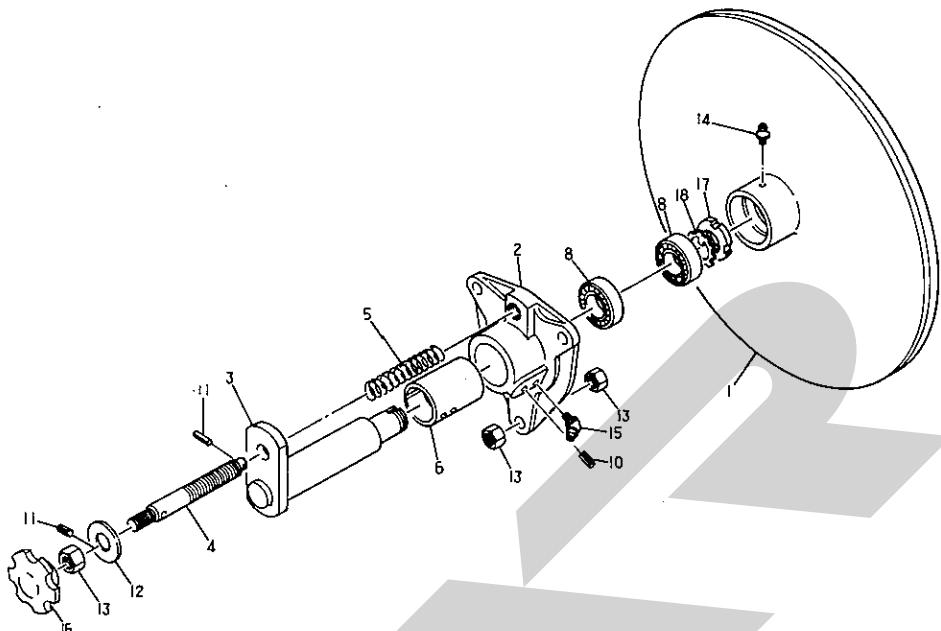
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フライホイール



11541-6

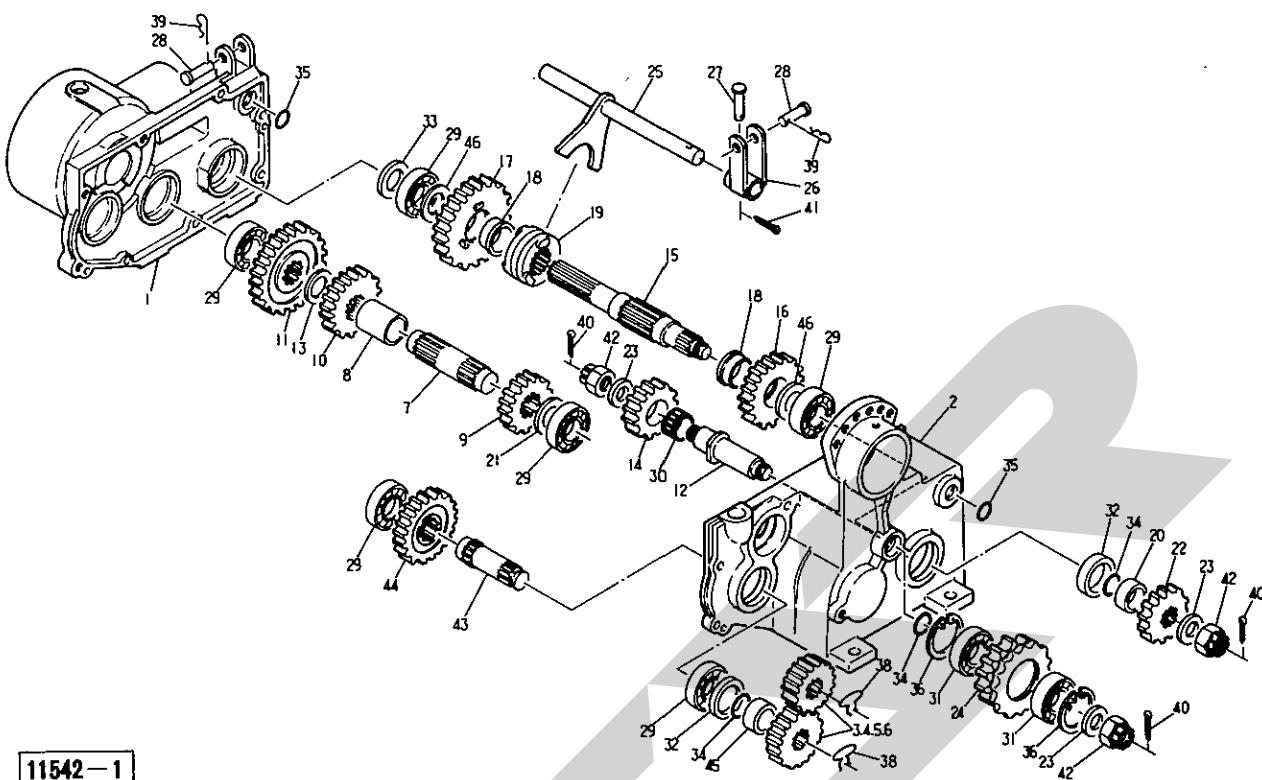
見出号	部品番号	部品名称	個数	見出号	部品番号	部品名称	個数
1	100107	ナイフ	6	26	BZ 1235 AG	ボルト; M12×35(8.8)	4
2	81314	シャバー; A	1	27	BCI10045	ボルト; M10×45全ネジ(ステンレス)	12
3	81315	シャバー; B	1	28	BZ 1025WG	ボルト; M10×25(8.8)	1
4	100133	ナイフホルダ	6	29	BZ 1020WG	ボルト; M10×20(8.8)	4
5	90275	ハウジング	1	30	82571	キュウユホース; 250	1
6	100242	シャフト; フライホイール	1	31	K869932	S Fツギテ; 1/8	1
7	81301	フライホイール	1	32	K 864206	L Fツギテ; M6	1
8	81302	ブレード	3	33	D 45629	オイルシール; D 45629	1
9	93020	カラー	1	34	NZ 10 G	ナット; M10(8)	12
10	90278	キャップ	1	35	44098	ワッシャ; 10	1
11	90279	カラー	1	36	BZ 1030WG	ボルト; M10×30(8.8)	2
12	81311	スプロケット; 50×14T	1	37	PC 5036G	ワリピン; 5×36	1
13	100139	ハイテンワッシャ	18	38	31301	ワッシャ	1
14	J 6308	ボールベアリング; 6308	1				
15	J 6307	ボールベアリング; 6307	1				
16	85537	ロックナット; M35×1.5	1				
17	81029	ハイテンワッシャ; 14	30				
18	D 50729	オイルシール; D 50729	1				
19	KFC10081000	キー; 10×8×100(両丸)	1				
20	DC 30	スナップリング; S 30	1				
21	NAC30200WG	ナット; M30×2(3種)	1				
22	ONBS 1	グリースニップル; B-PT 1/8	1				
23	BZT1440WG	ボルト; M14×40(10.9)	18				
24	BZT1450WG	ボルト; M14×50(10.9)	30				
25	BZ 1245 AG	ボルト; M12×45(8.8)	6				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター グラインダ



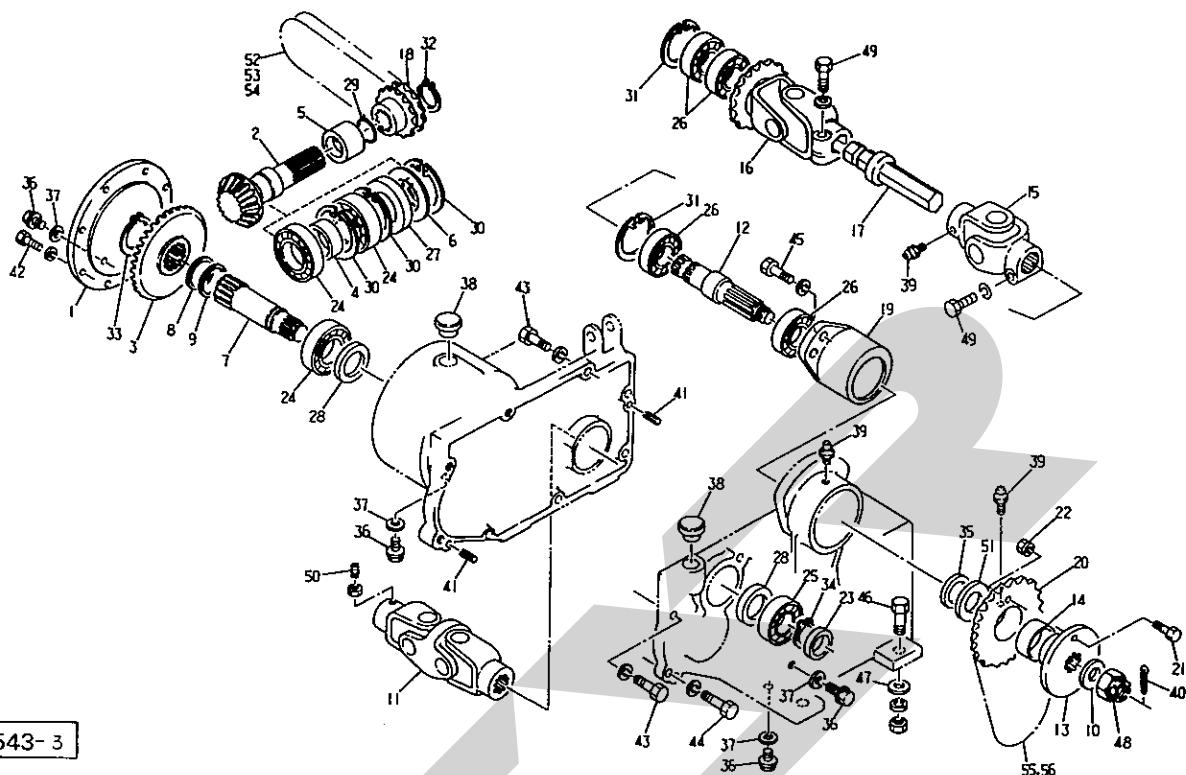
11546-2

**MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ギヤケース [I]**



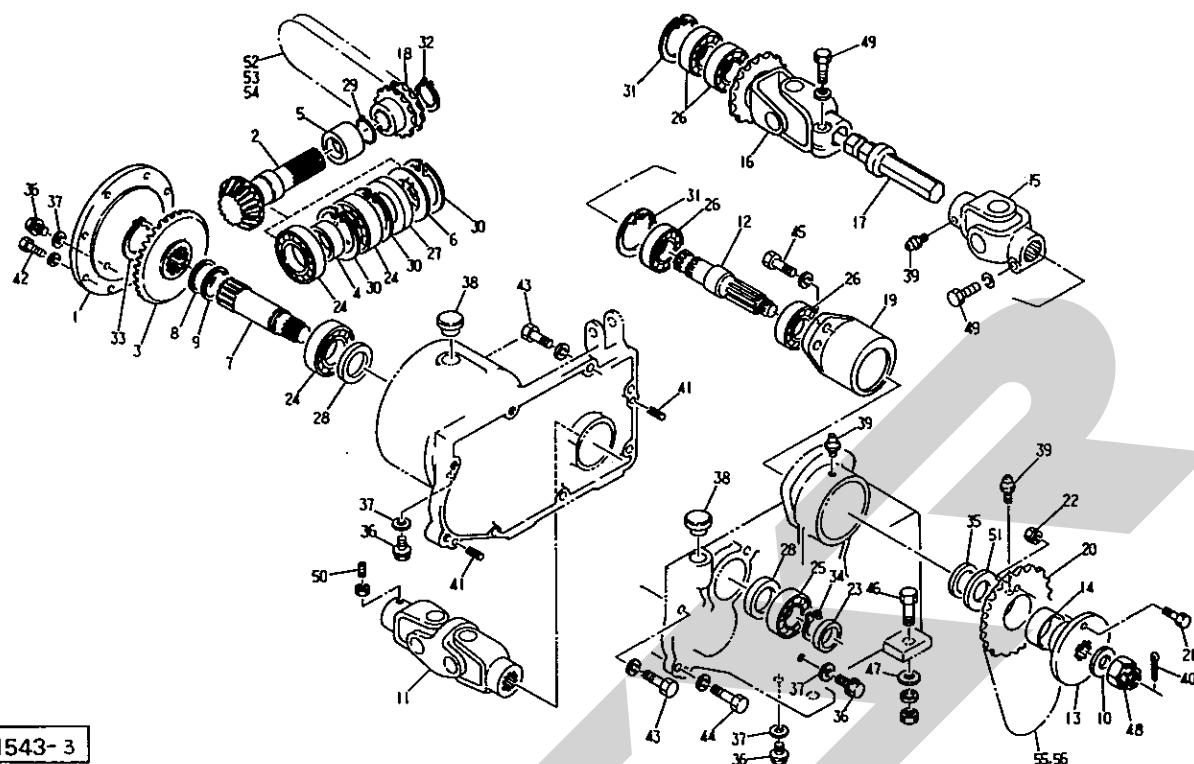
番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	82679	ギヤケース；R	1	26	82655	シフトアーム	1
2	82680	ギヤケース；L	1	27	00056	アタマツキピン；10×40	1
3	70207	ギヤ；19T 替ギヤ	1	28	00066	アタマツキピン；12×55	2
4	70206	ギヤ；20T 替ギヤ	1	29	J6206	ペアリング；6206	6
5	70209	ギヤ；16T 替ギヤ	1	30	JK303520	ニードルベアリング；K303520	1
6	70208	ギヤ；17T 替ギヤ	1	31	J6206LLU	ペアリング；6206LLU	2
7	81429	シャフト	1	32	D40558	オイルシール；D40558	2
8	81430	カラー	1	33	D30507	オイルシール；D30507	1
9	81431	ギヤ；15T	1	34	ORG30	Oリング；G30	3
10	82575	ギヤ；18T	1	35	ORP20	Oリング；P20	2
11	81432	ギヤ；24T	1	36	DHC62	スナップリング；H62	2
12	87223	シャフト；アイドラー	1				
13	81434	ワッシャ	1	38	56984	クリップ；17×3	2
14	81435	ギヤ；14T	1	39	00085	ペータピン；8×1.6	2
15	82577	シャフト	1	40	PC4040G	ワリピン；4×40	3
16	81437	ギヤ；19T	1	41	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1
17	81438	ギヤ；24T	1	42	NC2L20150G	キャッスルネット；M20×1.5(2種低形)	3
18	70643	ブッシュ	2	43	81427	シャフト	1
19	81439	クラッチ	1	44	81428	ギヤ；19T	1
20	61070	スペーサ；30×13.8	1	45	81424	カラー	1
21	59312	カラー	1	46	JWS81106	ニードルラストペアリング用内輪；WS81106	2
22	82579	ギヤ；15T	1				
23	75318	ザガネ	3				
24	82580	ギヤスプロケット	1				
25	81441	シフタ	1				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ギヤケース [II]

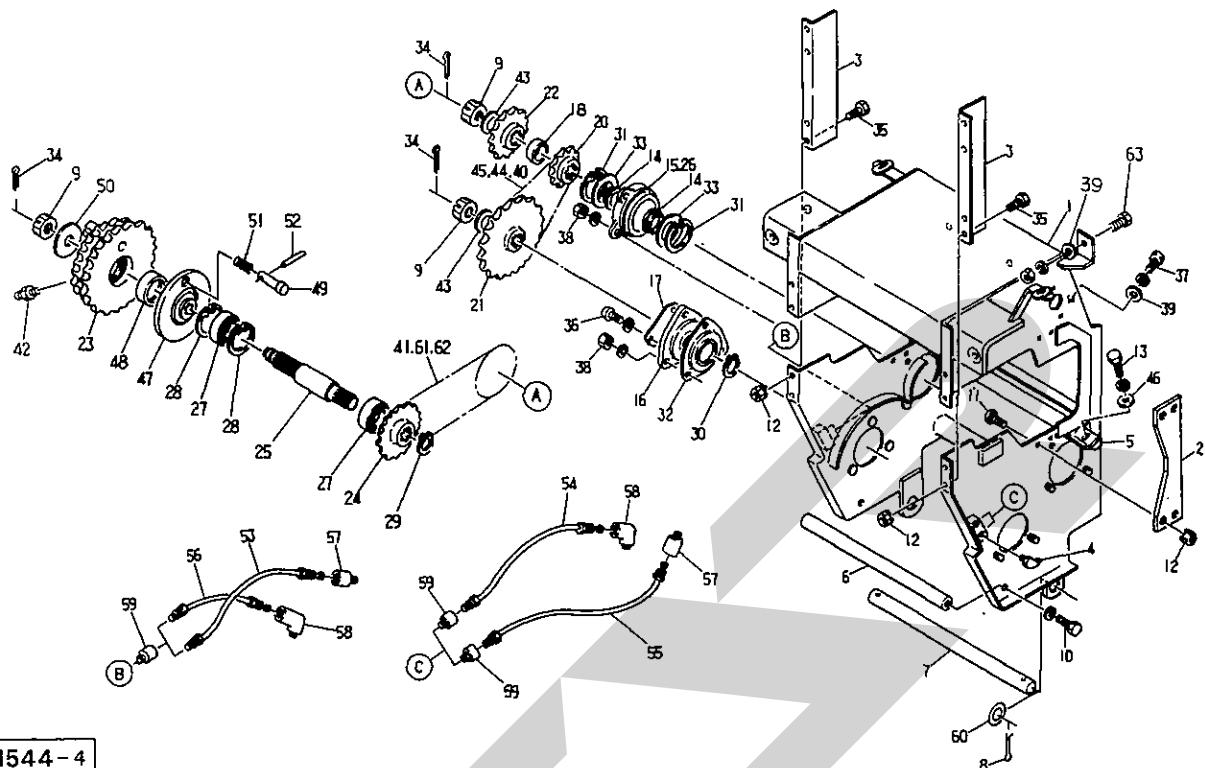


番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	81421	プレート	1	26	J 6206LLU	ベアリング；6206LLU	4
2	81422	ペベルピニオン	1	27	D407210	オイルシール；D407210	1
3	74220	ペベルギヤ	1	28	D35558	オイルシール；D35558	2
4	81423	カラー	1	29	ORG30	Oリング；G30	1
5	81424	カラー	1	30	DHC72	スナップリング；H72	3
6	81425	ワッシャ	1	31	DHC62	スナップリング；H62	2
7	81426	シャフト	1	32	DC30	スナップリング；S30	1
8	44585	調整シム；3.5×0.1	2	33	DC40	スナップリング；S40	1
9	44586	調整シム；3.5×0.2	2	34	DC35	スナップリング；S35	1
10	75318	ザガネ	1	35	82662	カラー	1
11	81444	ジョイント	1	36	00338	プラグ；M10	4
12	82581	シャフト	1	37	00339	パッキン(M10プラグ用)	4
13	81175	シャーボルトホルダ	1	38	00717	チューユセン；23	2
14	81177	ブッシュ	1	39	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	3
15	66954	ジョイント；2	1	40	PC4040G	ワリピン；4×40	1
16	83159	ジョイント	1	41	PS8020	スプリングピン；8×20	2
17	82738	シャフト	1	42	BZ0820WG	ボルト；M8×20(8.8)	8
18	81311	スプロケット；50×14T	1	43	BZ1040WG	ボルト；M10×40(8.8)	7
19	82583	メタル；カウンタ	1	44	BZ1050WG	ボルト；M10×50(8.8)	1
20	81176	スプロケット；25T	1	45	BZ1225WG	ボルト；M12×25(8.8)	1
21	44691	シャーボルト；M8×32 予備3ヶ	4	46	BZ1245AG	ボルト；M12×45(8.8)	4
22	NP08G	スプリングナット；M8 予備3ヶ	4	47	67931	ワッシャ；12	4
23	80916	カラー	1	48	NC2L20150G	キャップナット；M20×1.5(2種低形)	1
24	J 6207	ベアリング；6207	3	49	BZ1245WG	ボルト；M12×45(8.8)	2
25	J 6007LLU	ベアリング；6007LLU	1	50	MC1020N	ロッカクアナトメネジ；M10×20	1

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ギヤケース [II]

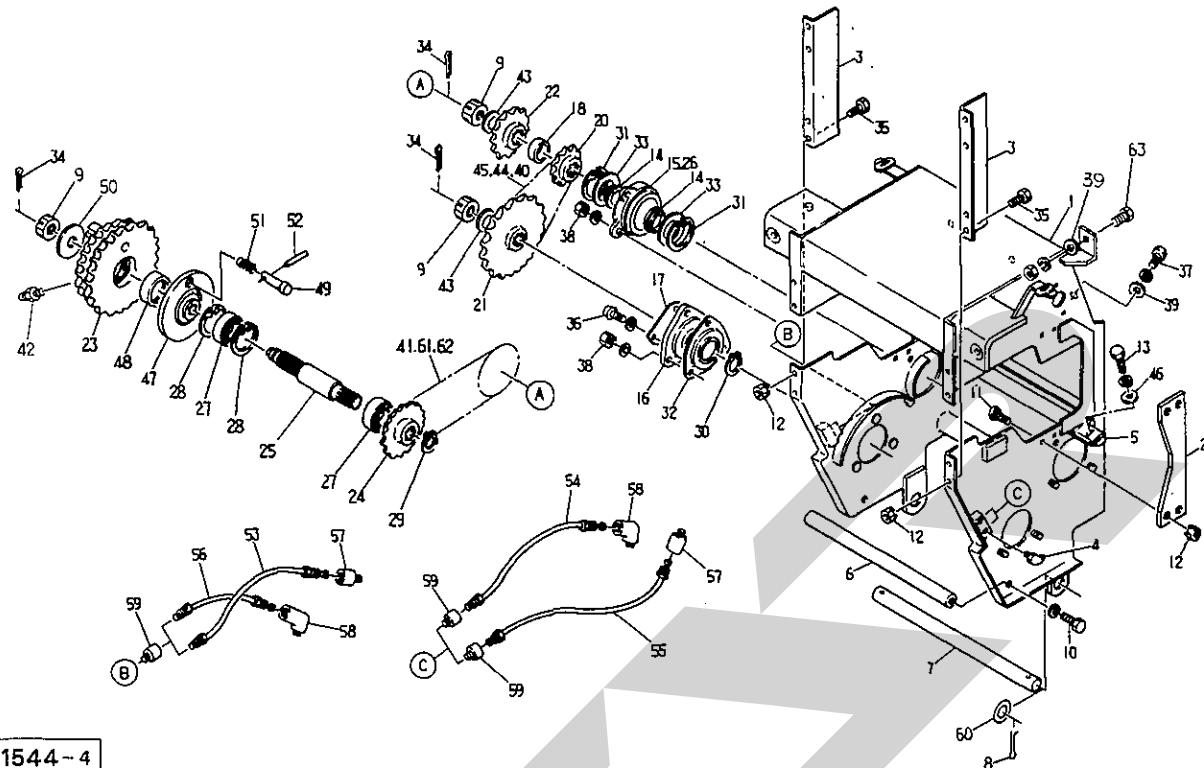


MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ロール [I]

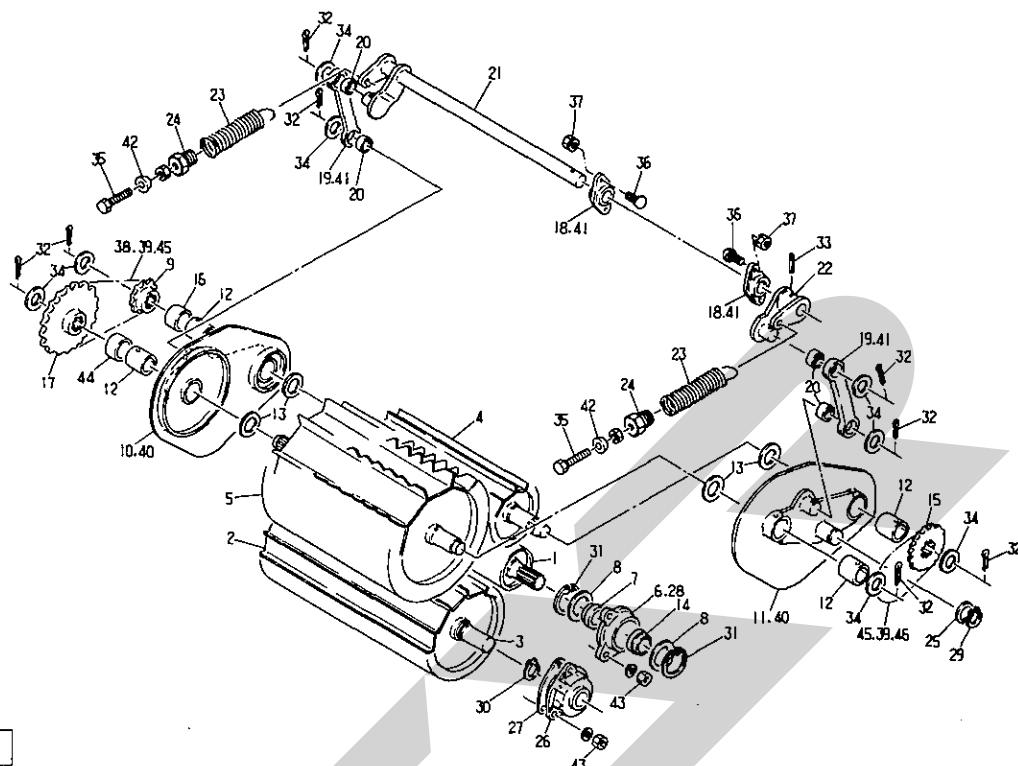


部品番号	部品番号	部品名称	個数	部品番号	部品名称	個数
				26	JCS206LLU	ユニットペアリング; CS 206LLU
2	81510	プレート	2	27	J6205Z	ペアリング; 6205Z
3	81511	アングル	2	28	DHC52	スナップリング; H52
4	ONBS1	グリースニップル; B-PT 1/8	4	29	DC25	スナップリング; S25
5	81410	スクレーパ	1	30	DC35	スナップリング; S35
6	81411	シャフト	1	31	DHC62	スナップリング; H62
7	81412	シャフト	1	32	56426	メタルカバー
8	PC5036G	ワリピン; 5×36	2	33	101743	プレート
9	NC2L20150G	キャッスルナット; M20×1.5(2種低形)	3	34	PC4040G	ワリピン; 4×40
10	BZ1220WG	ボルト; M12×20(8.8)	2	35	BZ0820G	ボルト; M8×20(8.8)
11	BRZ0820G	カクネボルト; M8×20(8.8)	8	36	CP0612WG	ナベコネジ; M6×12
12	NP08G	スプリングナット; M8	16	37	BZ1030WG	ボルト; M10×30(8.8)
13	BZ0820WG	ボルト; M8×20(8.8)	2	38	NZ10WG	ナット; M10(8)
14	81117	カラー	2	39	44098	ワッシャ; 10
15	81106	メタル	1	40	LD5041	ローラチェーン; 50×41 (④44,45付)
16	00730	メタル; 30	1	41	LD6037	ローラチェーン; 60×37 (④61,62付)
17	81114	プレート	1	42	ONAS6	グリースニップル; A-M6×1F
18	81310	カラー	1	43	75318	ザガネ
19	61938	カラー	1	44	AA50	ツギテ; 50
20	81109	スプロケット; 13T	1	45	AD50	1ピッチオフセット; 50
21	81110	スプロケット; 30T	1	46	44097	ワッシャ; 8
22	70282	スプロケット; 15T	1	47	100265	クラッチホルダ'
23	100264	スプロケット	1	48	100266	ブッシュ
24	82569	スプロケット; 15T	1	49	81459	ロックピン
25	100267	シャフト; カウンタ	1	50	81381	プレート

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター ロール [II]



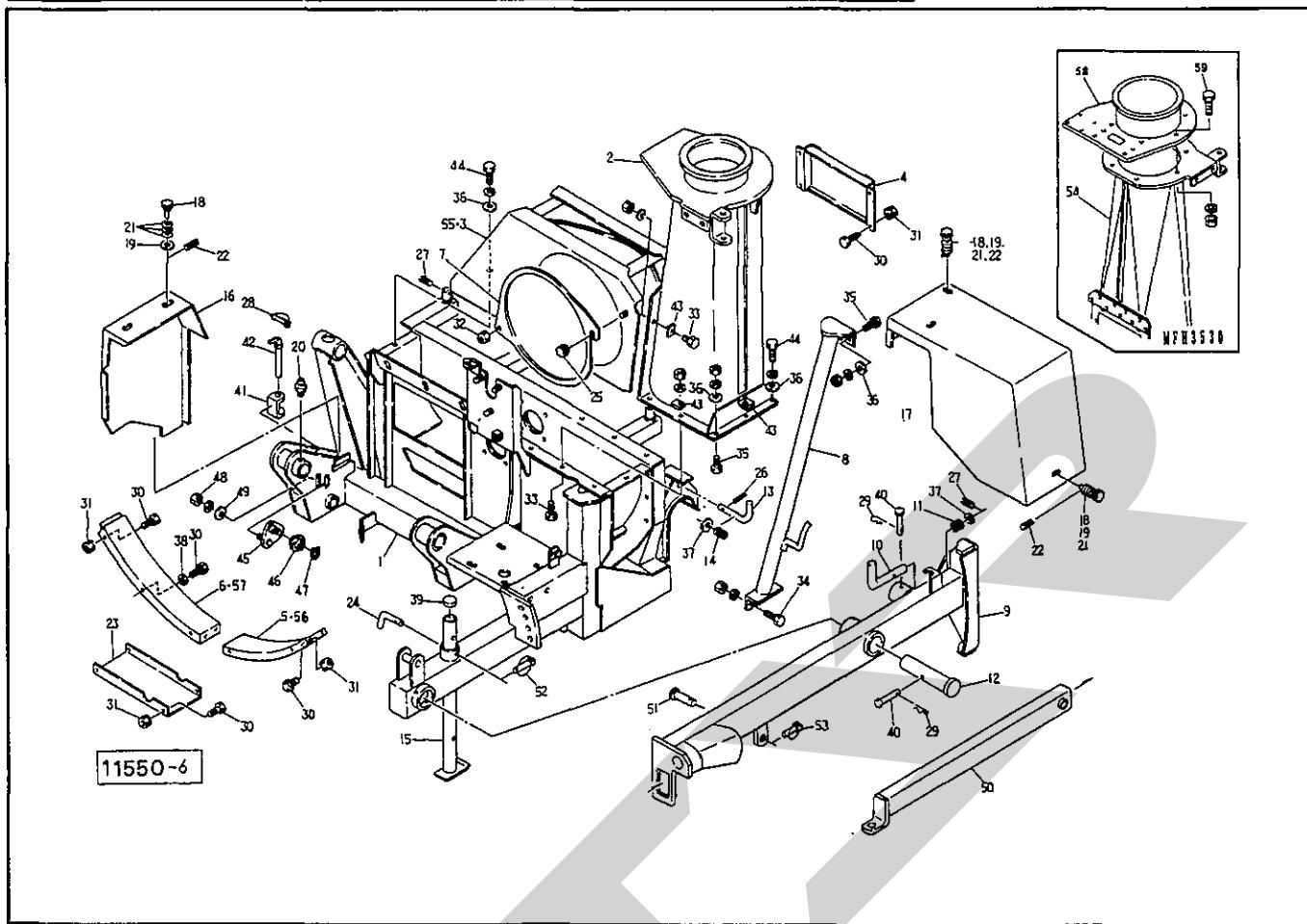
**MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
ロール [Ⅱ]**



11545

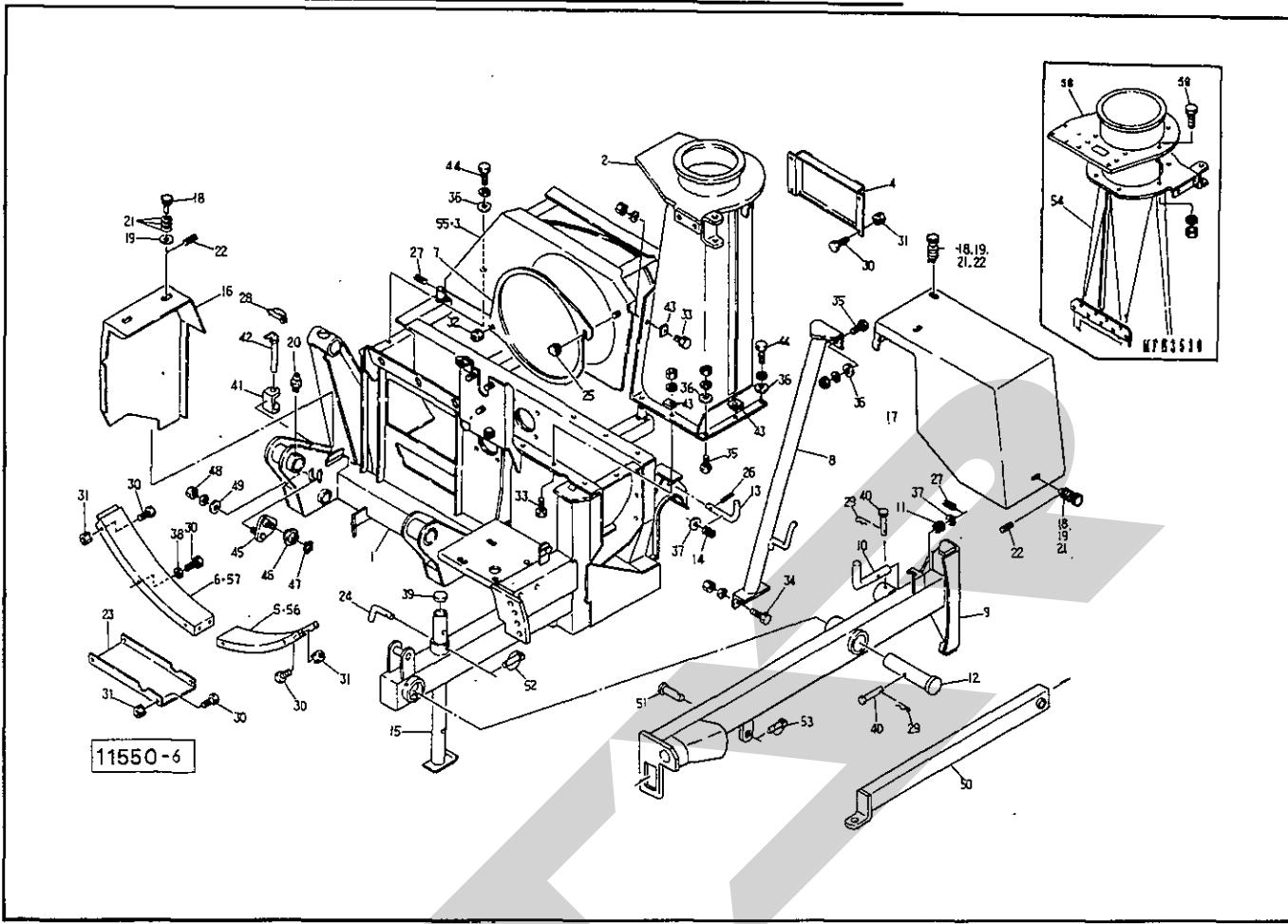
見番号	部品番号	部品名 称	個数	見番号	部品番号	部品名 称	個数
1	81384	プレーンロール	1	26	00732	メタル；30	1
2	81386	フロントロール	1	27	00473	メタルカバー	1
3	81390	シャフト；フロント	1	28	JCS206LLU	ユニットペアリング；CS 206 LLU	1
4	81391	リヤロール	1	29	DC30	スナップリング；S 30	1
5	82472	フィードロール	1	30	DC35	スナップリング；S 35	1
6	81106	メタル	1	31	DHC62	スナップリング；H 62	2
7	81117	カラー	1	32	PC5036G	ワリピン；5×36	8
8	101743	プレート	2	33	PS6040	スプリングピン；6×40	1
9	81109	スプロケット；13T	1	34	WRA24G	ワッシャ；M 24	8
10	82473	ガイドアーム；R	1	35	BZA1260NG	ボルト；M 12×60 全ネジ(8.8)	2
11	82475	ガイドアーム；L	1	36	59483	カクネボルト；M 8×25(8.8)	4
12	81401	ブッシュ	4	37	NP08G	スプリングナット；M 8	4
13	96104	ワッシャ	4	38	LD5049	ローラチェーン；50×49 ④39、45付	1
14	82565	カラー	1	39	AA50	ツギテ；50	2
15	82567	スプロケット；18T	1	40	ONAS6G	グリースニップル；A-M 6×1F	4
16	81453	カラー	1	41	ONBS6G	グリースニップル；B-M 6×1F	6
17	81110	スプロケット；30T	1	42	25266	キュウメンザガネ	2
18	81129	メタル	2	43	NZ10WG	ナット；M 10(8)	6
19	81403	リフトアーム	2	44	82568	カラー	1
20	81404	ブッシュ	4	45	AD50	1ピッチオフセット；50	2
21	81405	シフトアーム；R	1	46	LD5031	ローラチェーン；50×31 ④39、45付	1
22	81408	シフトアーム；L	1				
23	81409	スプリング	2				
24	70286	スプリングホルダ	2				
25	66871	カラー	1				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フレーム

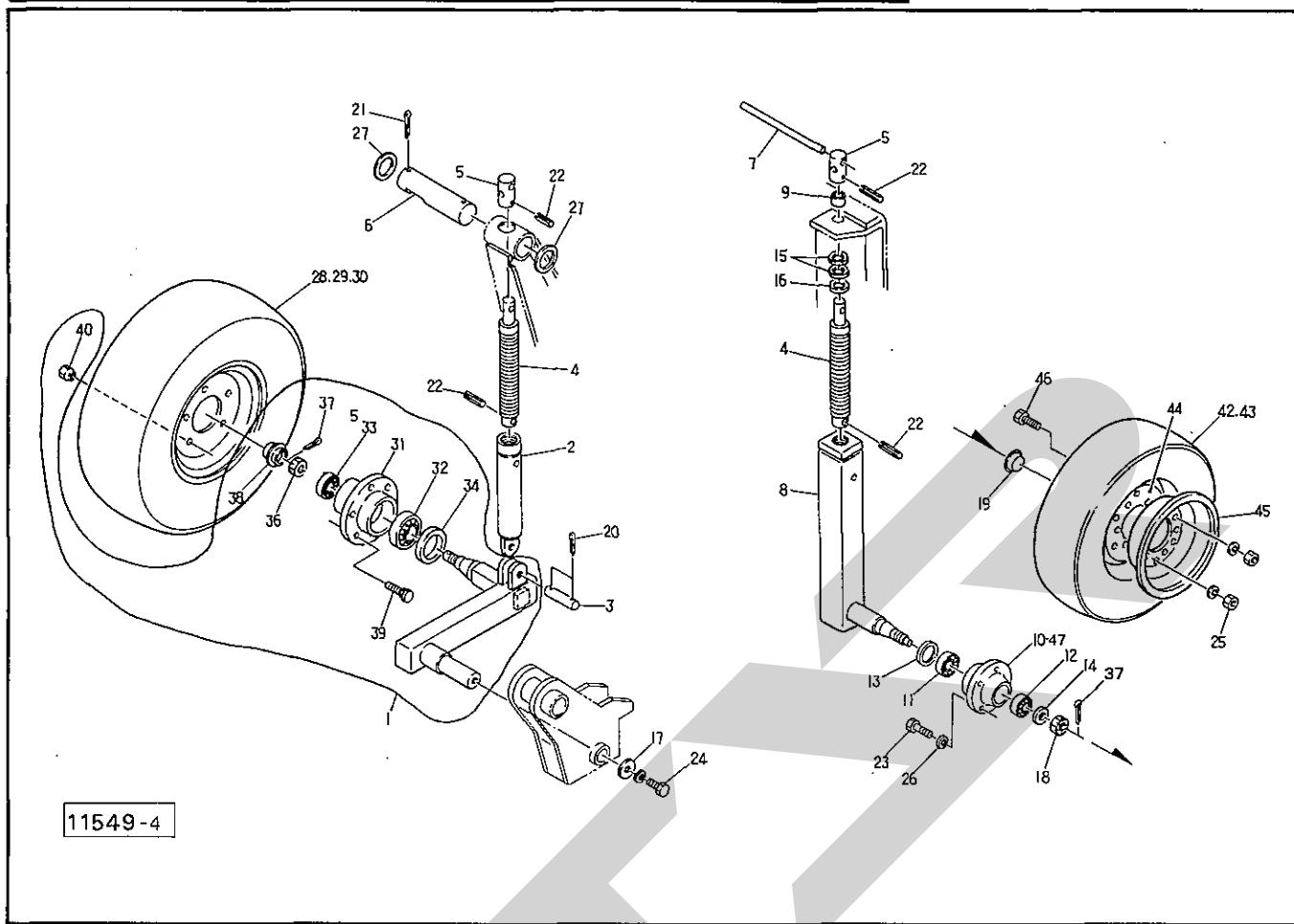


番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
				27	PS 6032	スプリングピン；6×32	4
2	81343	ダクト MFH3520	1	28	00453	デルタピン；9	2
3	81501	トップケーシング MFH3520	1	29	00085	ベータピン；8×1.6	2
4	81503	ケーシングカバー	1	30	BZ 0820G	ボルト；M8×20(8.8)	24
5	81339	ボトムプレート；A MFH3520	1	31	NP 08G	スプリングナット；M8	24
6	81341	ボトムプレート；B MFH3520	1	32	NN 08G	ナイロンナット；M8	1
7	81357	フランジ	1	33	BZ 0825AG	ボルト；M8×25(8.8)	2
8	81356	ステー	1	34	BZ 1025AG	ボルト；M10×25(8.8)	2
9	81379	カウンタパイプ	1	35	BZ 1035AG	ボルト；M10×35(8.8)	8
10	57922	レバー	1	36	44098	ワッシャ；10	5
11	57897	スプリング	1	37	WRA 20G	ワッシャ；M20	3
12	82682	シャフト	1	38	WS 08G	Sワッシャ；M8	2
13	83932	ピン	2	39	76582	キャップ	1
14	83933	スプリング	2	40	81708	ピン	2
15	81499	スタンド	1	41	81728	ブラケット	2
16	82683	カバー；R	1	42	81729	ピン	2
17	81514	カバー；U	1	43	86161	ワッシャ	7
18	79658	ニギリ；40	4	44	BZ 1025WG	ボルト；M10×25(8.8)	2
19	WRA 08G	ワッシャ；M8	8	45	82665	テンションブラケット	1
20	ONAS 6	グリースニップル；A-M6×1F	1	46	81267	テンションロール	1
21	79659	サラバネ	16	47	DC 17	スナップリング；S17	1
22	PS 4016	スプリングピン；4×16	4	48	NZ 16WG	ナット；M16(8)	2
23	81342	チャンネル	1	49	42322	ワッシャ；16	2
24	77934	ピン	1	50	84227	ドローバ	1
25	44289	ニギリ；M8	1	51	84228	ピン	1
26	PS 5032	スプリングピン；5×32	2	52	00738	リンチピン；6	1

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フレーム

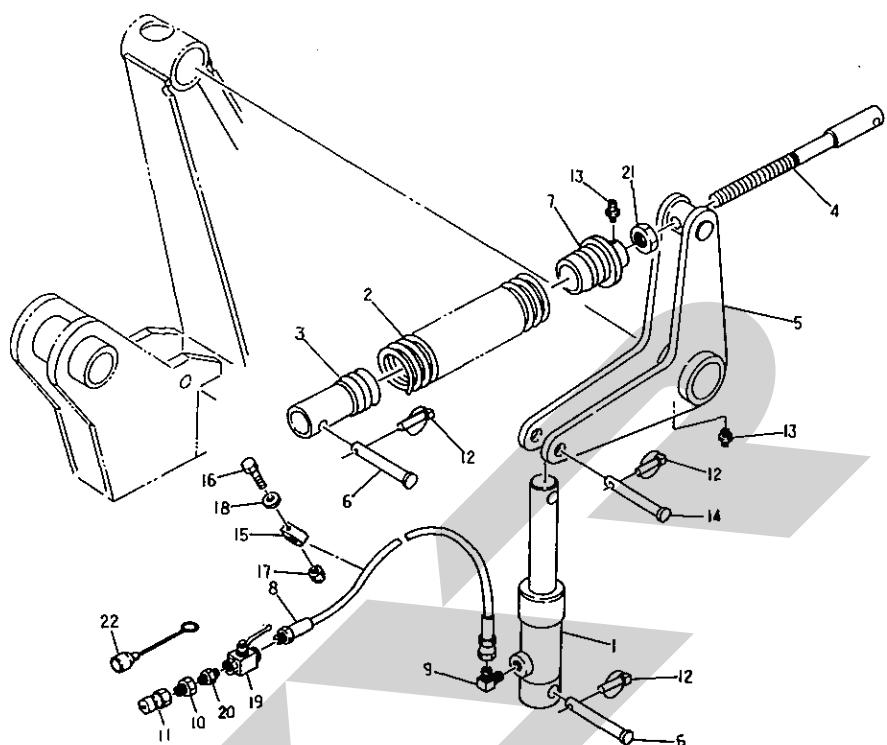


MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター アクスル・タイヤ・ハブ



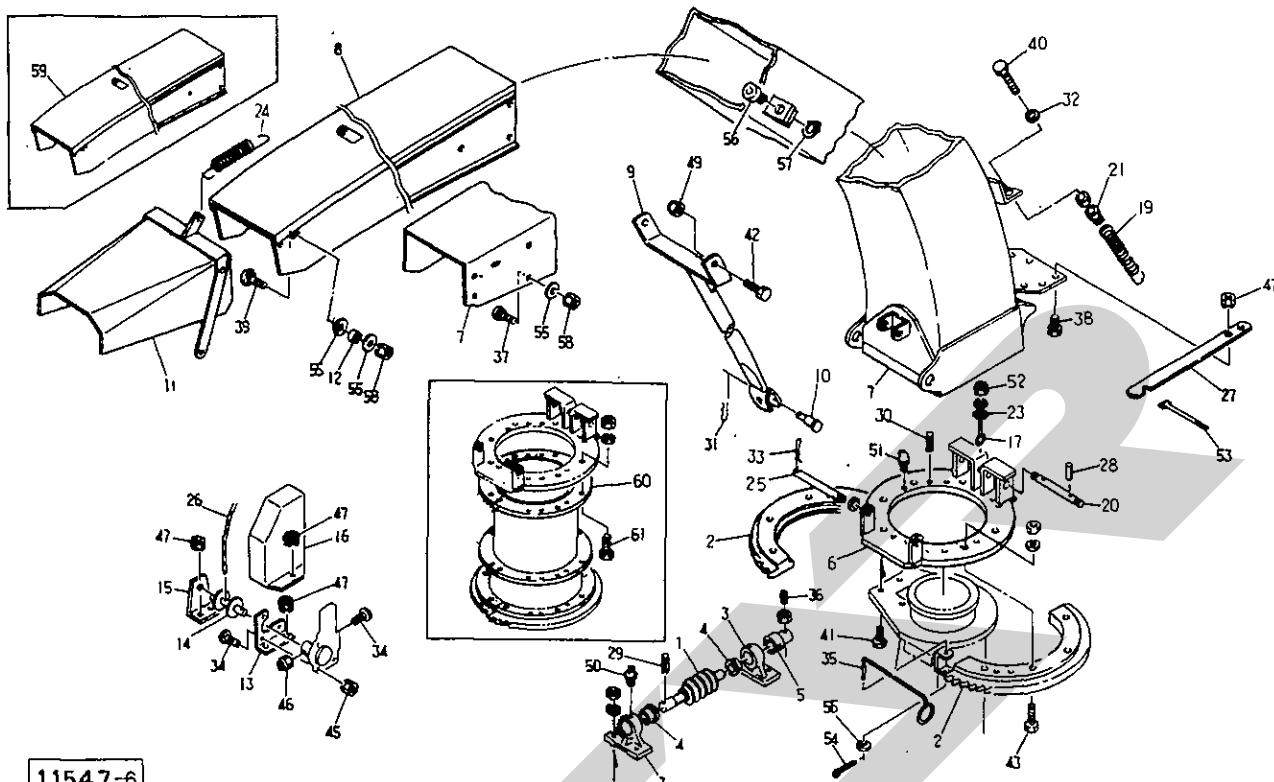
見出番号	部品番号	部品名称	個数	見出番号	部品番号	部品名称	個数
1	104532	ハブツキアクスル；R	1	26	WS12G	Sワッシャ；M12	6
2	81362	ホルダ	1	27	66208	ワッシャ；51	2
3	81363	ピン	1	28	00379	タイヤ；10/80-12-6PR	1
4	81364	スピンドル	2	29	00386	チューブ；10/80-12	1
5	81365	レバー・ホルダ	2	30	00854	ホイール；7.00×12	1
6	81369	ピン	1	31	00873	ハブ；F62×80	④47付
7	81366	ピン	1	32	J30208	テーパベアリング；30208	1
8	82502	アクスル；L	1	33	J30206	テーパベアリング；30206	1
9	81368	カラー	1	34	00874	シールワッシャ；40×80	1
10	00406	ハブ；52×72	④47付	1			
11	J30207	テーパベアリング；30207	1	36	00712	キャッスルナット；M24×1.5	1
12	J30205	テーパベアリング；30205	1	37	PC4032G	ワリピン；4×32	2
13	00500	シールワッシャ；35×72	1	38	00415	キャップ；62	1
14	WRA24G	ワッシャ；M24	1	39	00870	ボルト；M16×1.5×45	5
15	72860	ワッシャ	2	40	00871	ホイールナット；M16×1.5	5
16	58616	ザガネ	1				
17	41383	リールプレート	1	42	55529	タイヤ；600-9-10PR	1
18	00417	キャッスルナット；M24×1.5	1	43	55530	チューブ；600-9	1
19	00414	キャップ；52	1	44	64906	ホイール；4.00E-9DT	④45付
20	PC3232G	ワリピン；3.2×32	2	45	64907	ホイール(バレブ穴付)；4.00E-9DT	
21	PC8063G	ワリピン；8×63	2	46	BZ1225AG	ボルト；M12×25(8.8)	6
22	PS8032	スプリングピン；8×32	4	47	ONBS1	グリースニップル；B-PT1/8	1
23	00421	ボルト；M12×1.5×45(8.8)	6				
24	BZ1225WG	ボルト；M12×25(8.8)	1				
25	NZ12150WG	ナット；M12×1.5(8)	6				

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター フローティング



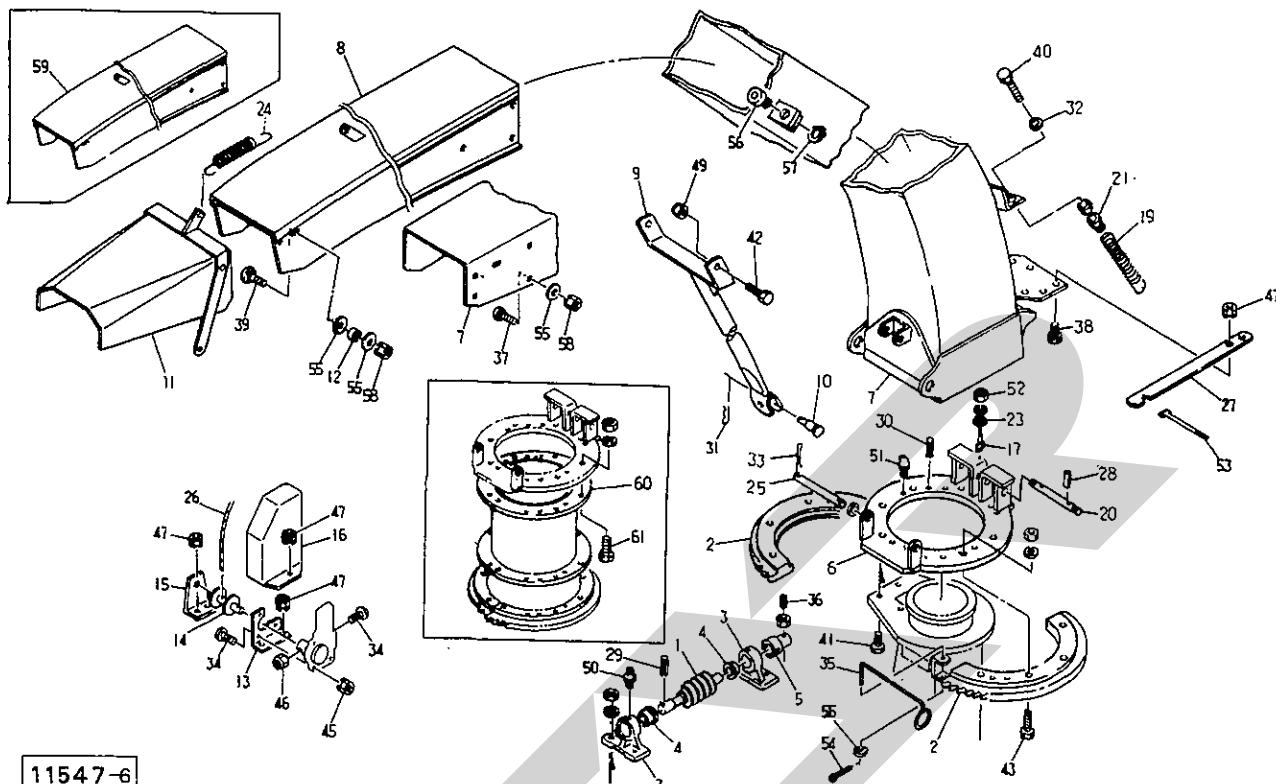
11548 - 3

MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター シート

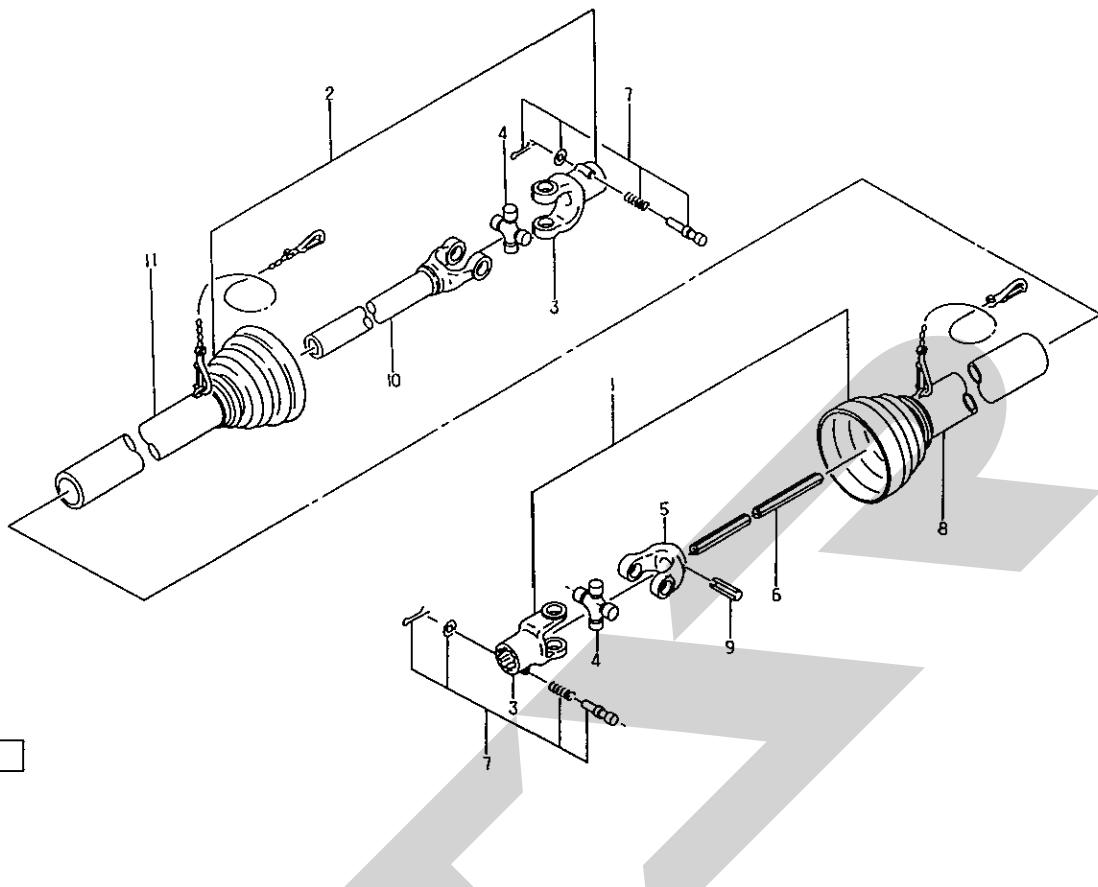


番号	部品番号	部品名称	個数	番号	部品番号	部品名称	個数
1	81460	ウォーム	1	28	PS5032	スプリングピン；5×32	2
2	81461	ウォームホイール	2	29	PS8050	スプリングピン；8×50	1
3	81462	メタル ④、50付	2	30	PS8040	スプリングピン；8×40	4
4	81463	ブッシュ	2	31	00085	ベータピン；8×1.6	1
5	81464	カップリング	1	32	25266	キュウメンザガネ	2
6	100138	フランジ	1	33	PC5036G	ワリピン；5×36	2
7	100136	シート	1	34	CP0625G	ナベコネジ；M6×25	4
8	84344	イクステンションシート	1	35	71615	ホースウケ	1
9	81467	ステー	1	36	MD0820N	ロッカクアナトメネジ；M8×20	1
10	76132	ピン	1	37	00451	カクネボルト；M10×25	6
11	84345	ヘッド	1	38	BZ0820G	ボルト；M8×20(8.8)	8
12	84346	カラー	3	39	00443	カクネボルト；M10×35(8.8)	3
13	70347	ブラケット	1	40	BAAZ12100NG	ボルト；M12×100(8.8)(全ネジ)	2
14	72942	ブーリ	1	41	BZ1035AG	ボルト；M10×35(8.8)	4
15	72944	アングル	1	42	BZ1030G	ボルト；M10×30(8.8)	2
16	70343	カバー	1	43	BZ1260AG	ボルト；M12×60(8.8)	8
17	96536	アイボルト	1	45	NP06G	スプリングナット；M6	3
19	47393	スプリング；A8×37×705	2	46	NN06G	ナイロンナット；M6	1
20	100137	ピン	1	47	NP08G	スプリングナット；M8	11
21	70286	スプリングホルダ	2	49	NN10G	ナイロンナット；M10	2
23	67931	ワッシャ；12	1	50	ONAS6	グリースニップル；A-M6×1F	2
24	27445	スプリング	1	51	ONCS6	グリースニップル；C-M6×1F	4
25	81468	ピン	1	52	NZ12WG	ナット；M12(8)	1
26	82678	ロープ	1	53	ILT50R	インシュロック；T50R	1
27	83151	サポート	1	54	PC3216G	ワリピン；3.2×16	1

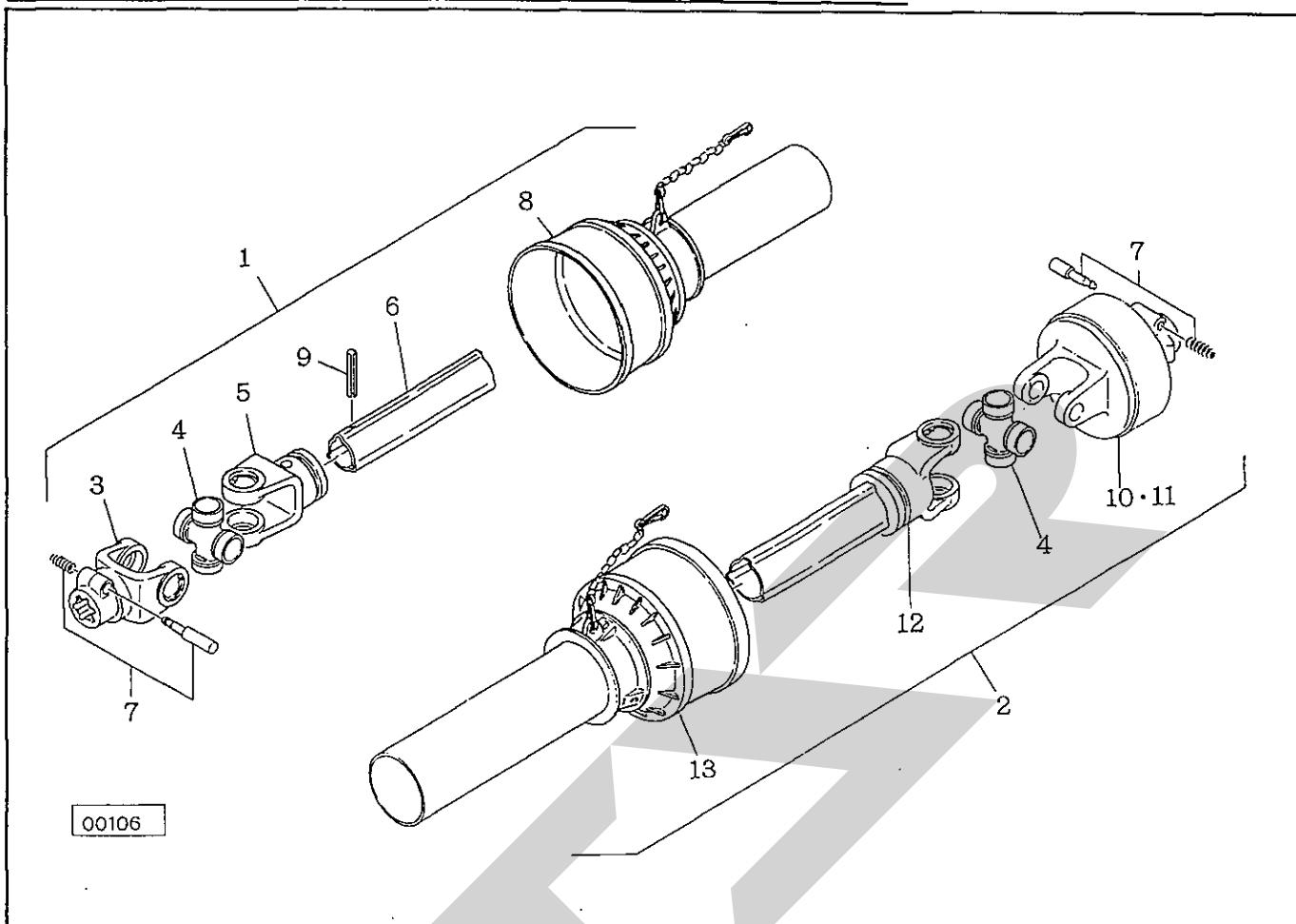
MFH3520・MFH3530 フォレージハーベスター
シュート



**LA-33・LA-80
パワージョイント**



OSGB-045
パワージョイント



本 社 066-8555 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千歳営業所 066-8550 千歳市上長都1061番地2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

旭川営業所 070-8004 旭川市神楽4条9丁目3番31号
TEL 0166-61-6131
FAX 0166-62-8985

豊富出張所 098-4100 天塩郡豊富町字上サロベツ1191番地
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯広営業所 080-2462 帯広市西22条北1丁目12番地
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

北見出張所 090-0001 北見市小泉302
TEL 0157-24-3880
FAX 0157-61-1344

中標津営業所 086-1152 標津郡中標津町北町2丁目16番2
TEL 01537-2-2624
FAX 01537-3-2540

花巻営業所 025-0312 岩手県花巻市二枚橋第三地割333-1
TEL 0198-26-5741
FAX 0198-26-5746

仙台営業所 985-0845 宮城県多賀城市町前2丁目4番27号
TEL 022-367-4573
FAX 022-367-4846

小山営業所 323-0158 栃木県小山市染2512-1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

名古屋営業所 480-0102 愛知県丹羽郡扶桑町大字高雄字南屋敷191
TEL 0587-93-6888
FAX 0587-93-5416

松本出張所 399-0033 長野県松本市大字笛賀5824-5
TEL 0263-26-5731
FAX 0263-26-5761

岡山営業所 700-0973 岡山県岡山市下中野704-103
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊本営業所 862-0939 熊本県熊本市長嶺南1丁目2番1号
TEL 096-381-7222
FAX 096-384-3525

都城営業所 885-0004 宮崎県都城市都北町3537-1
TEL 0986-38-1045
FAX 0986-38-4644